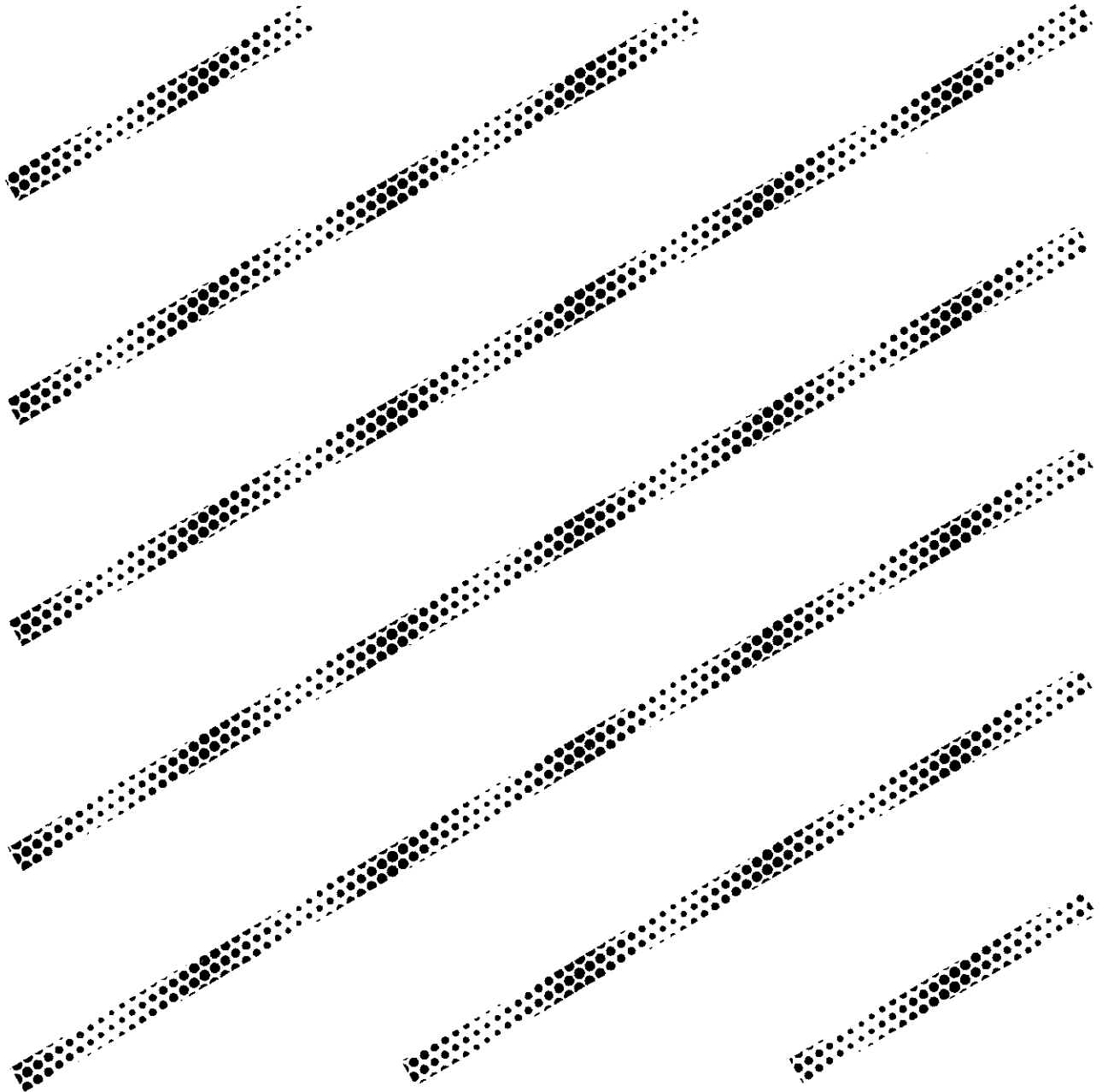




第18回

# 江東区政世論調査

平成19年



## 江東区の更なる発展に向けて

江東区政世論調査は、昭和48年から隔年で実施してきており、今年で18回目となります。本区では、平成14年8月に40万都市を達成してから、わずか5年余りで45万都市に近づこうとしています。

私は、4月に第5代江東区長に就任いたしました。このような急激な人口増加や大規模開発、豊洲新市場移転計画など、本区に大きな影響を及ぼす社会環境の変化を踏まえ、将来のまちづくりの指針となる新たな基本構想とその実現に向けた長期基本計画の策定に着手いたしました。

さらに、本区の緊急を要する課題であったマンション対策についても、2つの新条例を制定し、バランスのとれたまちづくりと良好なコミュニティ形成に向け、新たな一步を踏みだしたところです。

さて、世論調査において毎回お伺いしている定住意向率については、87.5%と前回同様、非常に高い水準を維持しております。本区の伝統ともいえる「下町の人情と思いやり」といった地域風土に加え、臨海部の躍動感や活気などが区民の皆様を受け入れられ「住み続けたい」という意識に繋がったものと考えております。

一方、高齢者対策や子育て支援、治安・防災対策など引き続き区民生活に密着した施策への要望も寄せられております。

今回の調査では、経年で行っている調査項目に加え、「生活安全」、「NPO」、「食育」などの行政課題の変化を見据えた調査項目を取り上げました。

調査結果につきましては、今後の区政運営や施策立案の際の貴重な基礎資料として、活用してまいりたいと考えております。

最後に、本調査の実施にあたり、ご協力いただきました区民の皆様にご心から御礼を申し上げます。

平成19年12月

江東区長 山崎 孝明

## 1. 調査目的

江東区政の各分野において区民の意識や動向、意見や要望などを把握することにより、今後の区政運営の参考に資する。

## 2. 調査の内容

- |          |             |                 |
|----------|-------------|-----------------|
| (1) 定住性  | (5) NPO     | (9) 選挙          |
| (2) 情報化  | (6) 介護保険    | (10) こうとう区議会だより |
| (3) 防災対策 | (7) 食育      | (11) 長期基本計画     |
| (4) 生活安全 | (8) 清掃リサイクル | (12) 広報・広聴      |

## 3. 調査の設計

- |              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|--------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (1) 調査地域     | 江東区全域                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| (2) 調査対象     | 江東区在住の満20歳以上の男女                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| (3) 標本数      | 1,200人                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| (4) 調査対象者の抽出 | <ul style="list-style-type: none"><li>①母集団……………江東区住民基本台帳上の満20歳以上の男女</li><li>②地点数……………120地点（1地点10サンプル）</li><li>③抽出法……………層化2段無作為抽出法（層化→地点抽出→対象者抽出）</li><li>④層化……………1又は2箇所の出張所の所管区域を単位として7地区に層化（図1参照）</li><li>⑤地点数配分……………1地点が10サンプルとなるように、各地区の調査対象者に応じて地点数を比例配分した（合計120地点）</li><li>⑥地点抽出……………各地区ごとの地点数に応じてインターバルを定め、等サイズブロック抽出法に従い、無作為系統的に各地点の抽出スタート点を決めて地点を抽出した。</li><li>⑦対象者抽出……………抽出された各地点のスタート点より、1地点10票ずつのサンプルを無作為系統的に抽出した。</li></ul> |
| (5) 調査期間     | 平成19年6月29日～7月17日                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| (6) 調査機関     | 株式会社 エスピー研                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |

図1 地区区分図

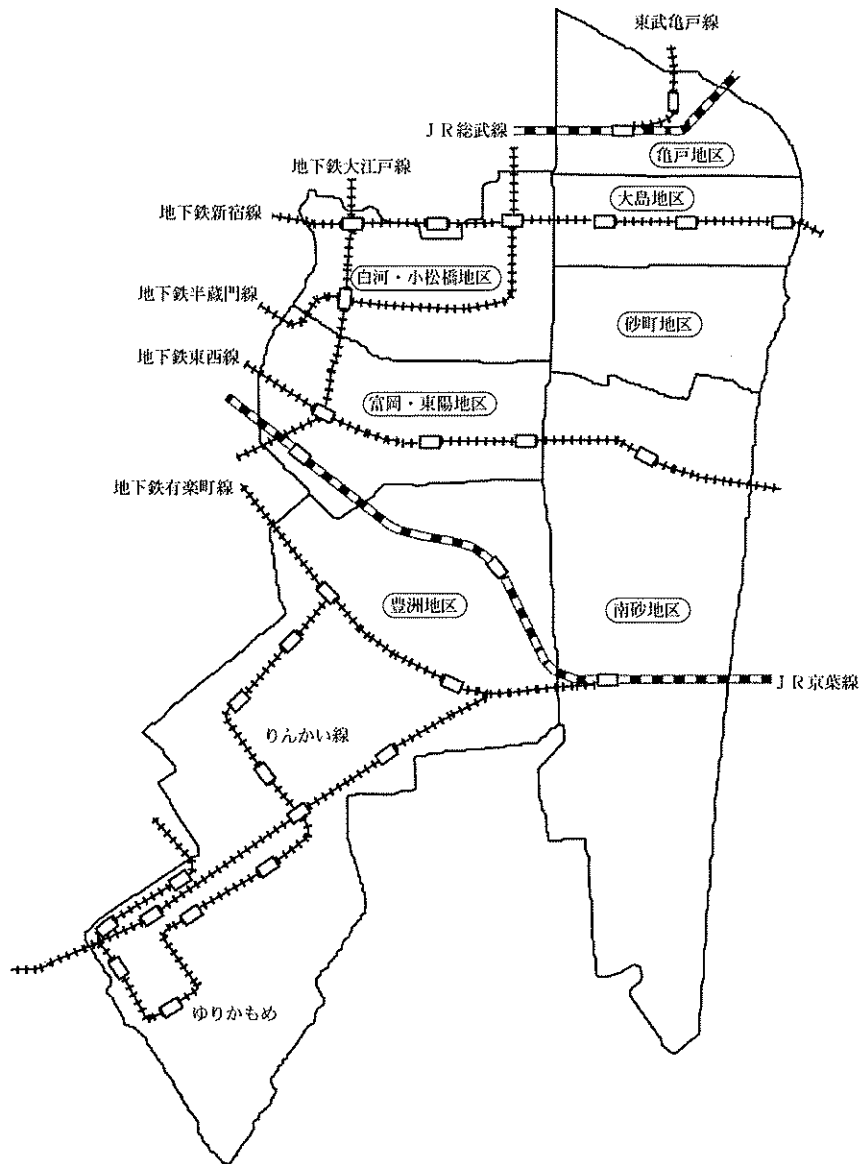


表1 地区・町丁名対応表

地区	該 当 町 丁 目
白河・小松橋	清澄、常盤、新大橋、森下、平野、三好、白河、高橋、千石、石島、千田、海辺、扇橋、猿江、住吉、毛利
富岡・東陽	佐賀、永代、福住、深川、冬木、門前仲町、富岡、牡丹、古石場、越中島、木場、東陽、南砂2丁目(1番1号~5号・5番~7番)、新砂1丁目1番
豊洲	塩浜、枝川、豊洲、東雲、有明、辰巳、潮見、青海
亀戸	亀戸
大島	大島
砂町	北砂、南砂(1丁目、5丁目)、南砂2丁目(24番~34番)、東砂(1丁目~5丁目)
南砂	東砂(6丁目~8丁目)、南砂2丁目(1番1号~5号・5番~7番・24番~34番を除く) 3・4・6・7丁目、新砂1丁目(1番を除く) 2・3丁目、夢の島、新木場、若洲

※平成19年6月1日現在

#### 4. 調査方法

- (1) 実査方法 調査員による個別面接聴取法
- (2) 調査票 巻末綴じ込みの調査票を使用
- (3) 予告はがき 「江東区政世論調査のお願い」の調査訪問予告はがきをあらかじめ郵送した。
- (4) 再訪問 調査対象者が不在の場合は、日時を変えて3回以上訪問し、調査が円滑に遂行されるように心掛けた。

#### 5. 回収結果

##### (1) 回収結果内訳

地区	満20歳以上人口 (構成比)	標本数	有効回収数	有効回収率
区全体	358,357人 (100.0%)	1,200	935	77.9%
白河・小松橋	59,173人 (16.5%)	200	165	82.5%
富岡・東陽	53,573人 (15.0%)	180	135	75.0%
豊洲	57,009人 (15.9%)	200	143	71.5%
亀戸	41,272人 (11.5%)	140	101	72.1%
大島	50,581人 (14.1%)	170	128	75.3%
砂町	60,716人 (16.9%)	190	159	83.7%
南砂	36,033人 (10.1%)	120	104	86.7%

(2) 回収不能数 265票 回収不能率 22.1%

##### (3) 回収不能内訳

回収不能項目	件数	構成比
拒否	95	35.8%
長期不在	32	12.1%
短期不在	99	37.4%
転居・転出	20	7.5%
住所不明	9	3.4%
病気・入院・死亡	9	3.4%
その他	1	0.4%

## 6. 摘要と標本誤差

- (1) すべての集計表は、小数点第2位を四捨五入した。
- (2) 回答の比率(%)は、その設問の回答者数を基礎(n)として算出した。したがって、複数の回答の設問のすべての比率は合計すると100%にならないことがある。
- (3) 標本誤差(サンプル誤差)はおおよそ下表のとおりである。標本誤差は次の式によって得られる。標本誤差の幅は、①比率算出の基礎(n)、及び②回答比率(P)によって異なる。

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{2 \times \frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

N = 母集団数  
n = 比率算出の基礎(サンプル数)  
p = 回答の比率

回答の比率(p) 基礎(n)	90%または 10%前後	80%または 20%前後	70%または 30%前後	60%または 40%前後	50%前後
935	± 2.8%	± 3.7%	± 4.2%	± 4.5%	± 4.6%
800	± 3.0%	± 4.0%	± 4.6%	± 4.9%	± 5.0%
600	± 3.5%	± 4.6%	± 5.3%	± 5.7%	± 5.8%
400	± 4.2%	± 5.7%	± 6.5%	± 6.9%	± 7.1%
200	± 6.0%	± 8.0%	± 9.2%	± 9.8%	± 10.0%
100	± 8.5%	± 11.3%	± 13.0%	± 13.9%	± 14.1%

(注) 1. 表は  $\frac{N-n}{N-1} \cong 1$  として算出した。

2. 層化を行った場合、誤差は上表よりやや小さくなる。

3. この表の見方は次のとおりである。

「ある設問の回答者が935人であり、その設問中の選択肢の回答比率が70%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも4.2%である。」

## 7. 集計・分析にあたって

(1) 集計は、①単純集計、②フェイスシートとのクロス集計、③設問間クロス集計の3種類を行った。

(2) フェイスシート7項目およびそれに準ずる設問として2項目を採用した。

- |               |               |
|---------------|---------------|
| ①地区別          | ⑥ライフステージ別(F5) |
| ②性別(F1)       | ⑦住居形態別(F6)    |
| ③性・年齢別(F1×F2) | ⑧居住年数別(問1)    |
| ④職業別(F3)      | ⑨定住・転出意向別(問2) |
| ⑤家族人数別(F4)    |               |

(3) 巻末相関表には、(2)の9項目を基本分類軸として掲載した。ただし、問23～問44の「長期基本計画」関連の質問は、上記項目のうち地区別、男女別、男女年代別、ライフステージ別の相関表のみを掲載している。

(4) 分析に使用したパーセント表示は、全体については小数点第2位を四捨五入して小数点第1位を算出したものを使用した。また、クロス集計によるグラフ上で比率の少ないものは省略した場合もある。したがって、同一項目で小数点第1位と小数点第2位の四捨五入で数値が異なる場合や、回答比率の合計が100%にならないものがある。

(5) 図、表中の数字で「-」(バー)はその項目に該当する回答がまったくないものを示す。

(6) ライフステージの名称及び内容は以下のとおりである。

独身期	40歳未満の独身者
家族形成期	40歳未満の子どもがいない夫婦、または一番上の子どもが小学校入学前の人
家族成長前期	一番上の子どもが小・中学生の人
家族成長後期	一番上の子どもが高校・大学生の人
家族成熟期	64歳以下で一番上の子どもが学校を卒業している人
老齢期	65歳以上の人

(7) 「調査結果の分析」の分析軸で、職業別の内容は以下のとおりである。

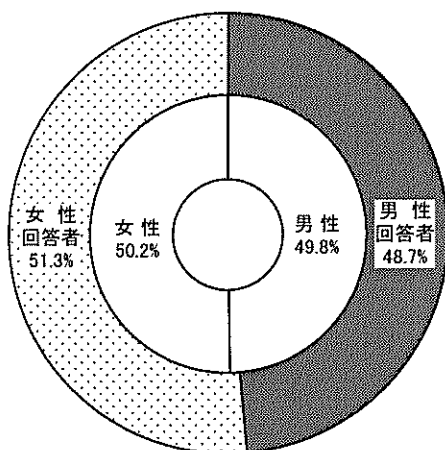
有職男性	男性で職業が「自営業・事業主」、「自由業」、「管理職」、「事務職・技術職」、「労務職・サービス職」、「パート・アルバイト」のいずれかに該当する人
有職女性	女性で職業が「自営業・事業主」、「自由業」、「管理職」、「事務職・技術職」、「労務職・サービス職」、「パート・アルバイト」のいずれかに該当する人
専業主婦	職業が「専業主婦」に該当する人
学生	職業が「学生」に該当する人
無職	職業が「無職」に該当する人

## 8. サンプル（調査回答者）特性

今回の回答者の特性は、下記のとおりである。なお、母集団とは住民基本台帳上の満20歳以上の男女全員である。

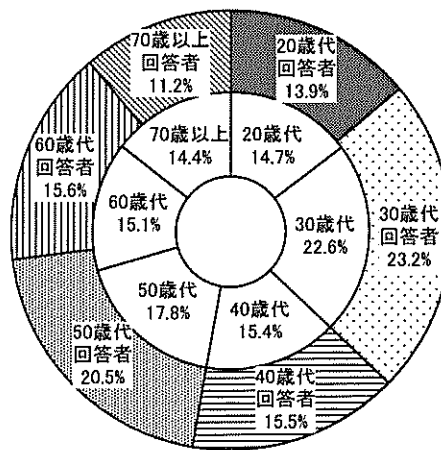
### (1) 性別

◎母集団・回答者ともに女性の方が多い



### (2) 年齢

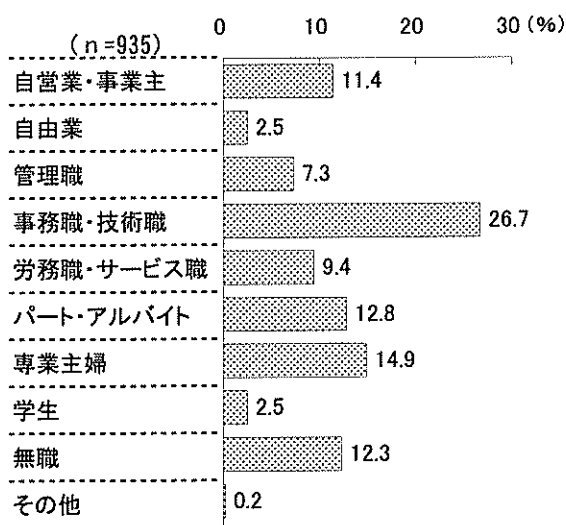
◎母集団の割合に比べて20歳代が小さく、50歳代が大きい。



(注) 内円は母集団（江東区在住の満20歳以上の区民）の構成比、外円は調査回答者の構成比を示している。

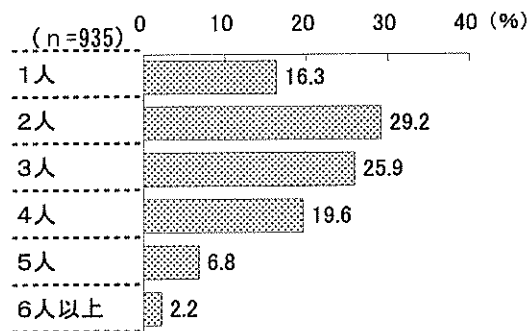
### (3) 職業

◎事務職・技術職が多く、次いで専業主婦が多い。



### (4) 家族人数

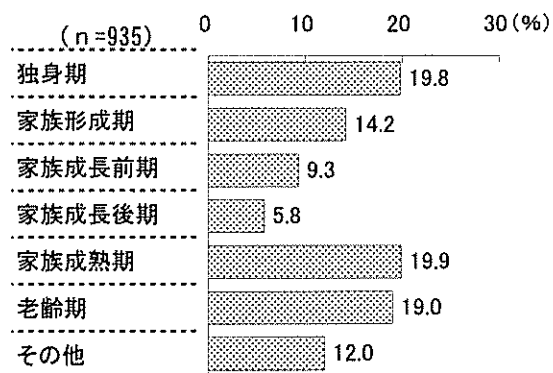
◎2～3人家族が2割台後半となっている。





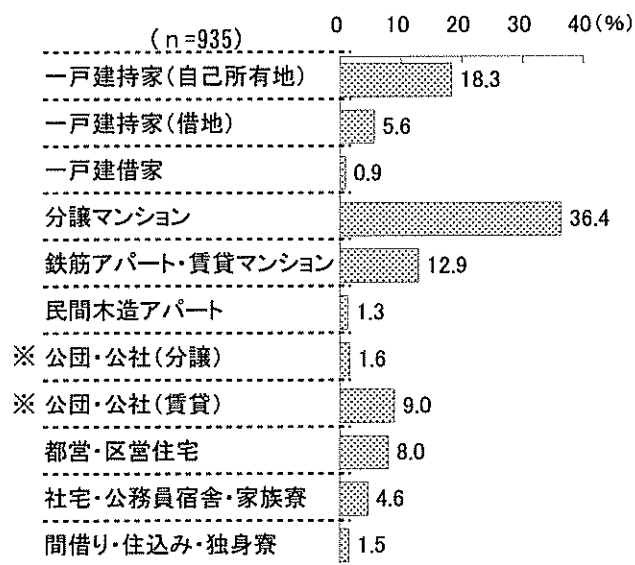
### (5) ライフステージ

◎家族成熟期が最も多く、独身期、老齢期が僅差で続く。



### (6) 住居形態

◎分譲マンションが最も多く、次いで一戸建持家（自己所有地）が多い。

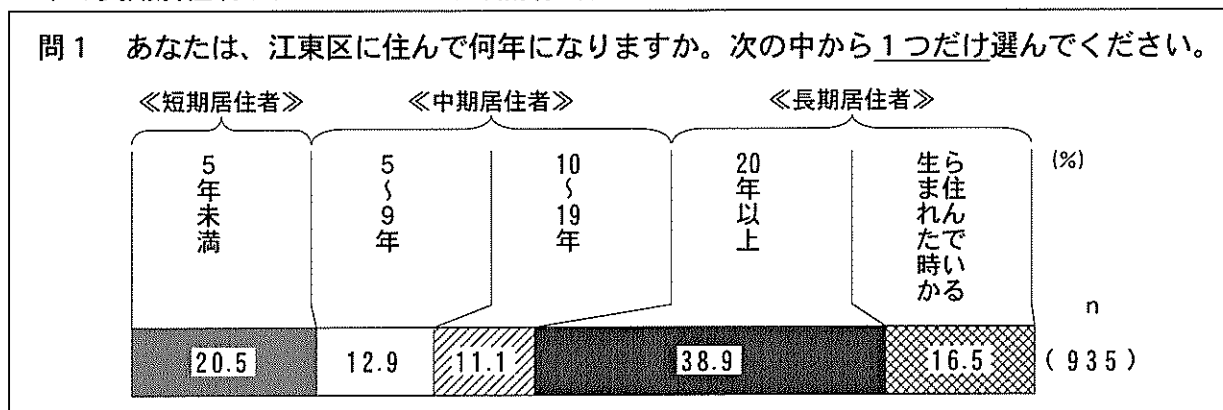


※ 公団とは「UR都市機構（旧日本住宅公団、住宅都市整備公団、都市基盤整備公団）」、公社とは「東京都住宅供給公社」を指します。

## 【定住性】

### (1) 居住年数

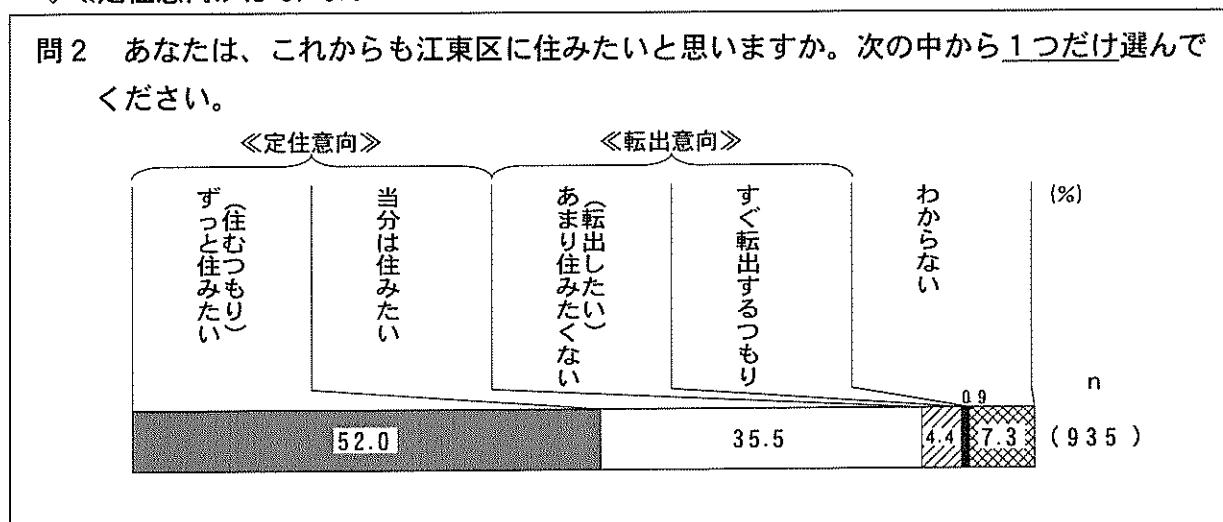
◇《長期居住者》は 55.4%、《短期居住者》は 20.5%



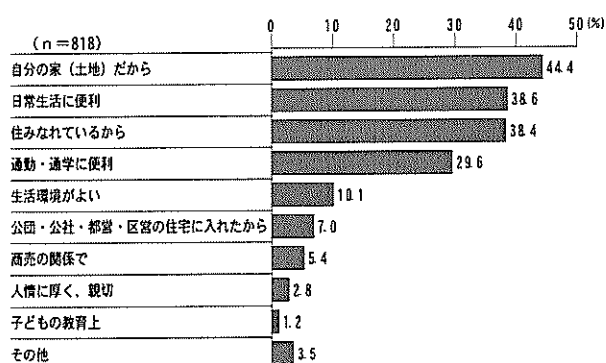
○居住年数については、「20年以上」(38.9%)と「生まれた時から住んでいる」(16.5%)の2つを合わせた《長期居住者》(55.4%)が5割台半ばとなっている。

### (2) 定住・転出意向

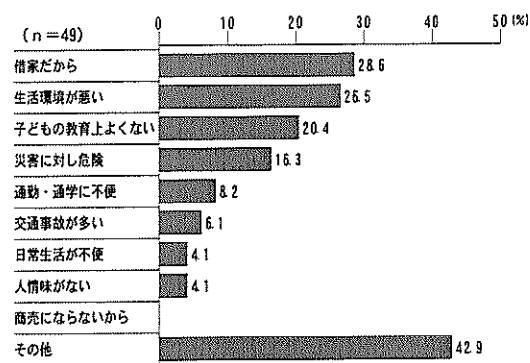
◇《定住意向》は 87.5%



#### 【定住意向理由 (複数回答)】 (2つ以内で回答)



#### 【転出意向理由 (複数回答)】 (2つ以内で回答)

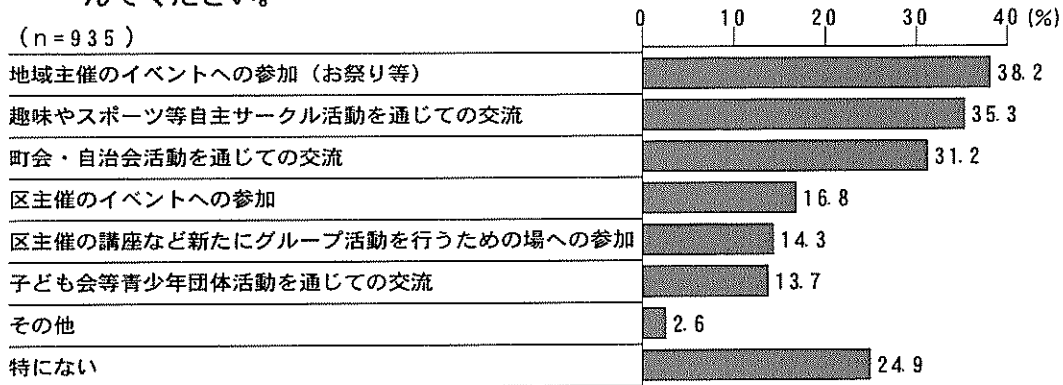


○定住・転出意向については、「ずっと住みたい(住むつもり)」(52.0%)と「当分は住みたい」(35.5%)の2つを合わせた《定住意向》(87.5%)は9割近くとなっている。

(3) 新たに住んだ区民と以前から住んでいる区民との交流

◇「地域主催のイベントへの参加（お祭り等）」が38.2%で最も多い

問2-3 ご近所の中で新たに江東区に住まれた方と、以前から住んでいる方が交流を深める場合、あなたはどのようなことなら参加できますか。次の中からすべて選んでください。



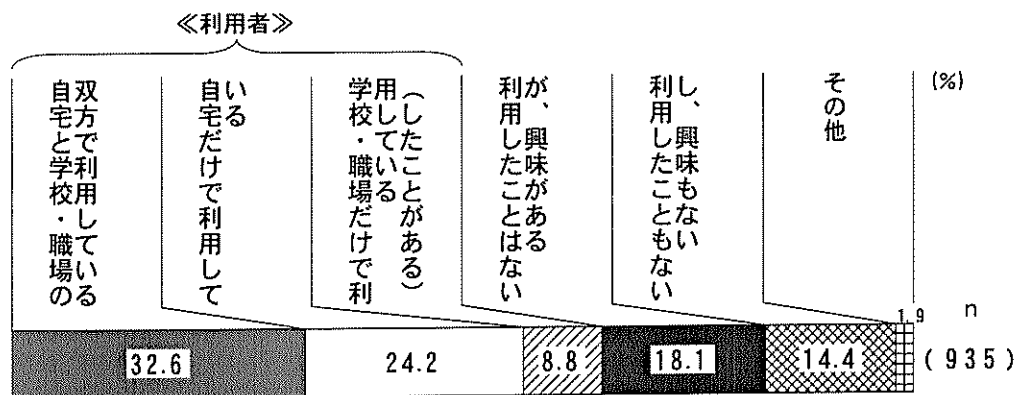
○新たに江東区に住んだ区民と、以前から江東区に住んでいる区民が交流を深めるために参加できることは何か聞いたところ、「地域主催のイベントへの参加（お祭り等）」（38.2%）が4割近くで最も多く、次いで「趣味やスポーツ等自主サークル活動を通じての交流」（35.3%）、「町会・自治会活動を通じての交流」（31.2%）などの順となっている。

【情報化】

(1) インターネットの利用状況

◇《利用者》は65.6%

問3 現在、パソコンなどを使って家庭や職場から海外の情報を見ることができたり、電子メールのやりとりができるインターネットが急速に普及していますが、あなたは「インターネット」をどの程度利用していますか。次の中から1つだけ選んでください。



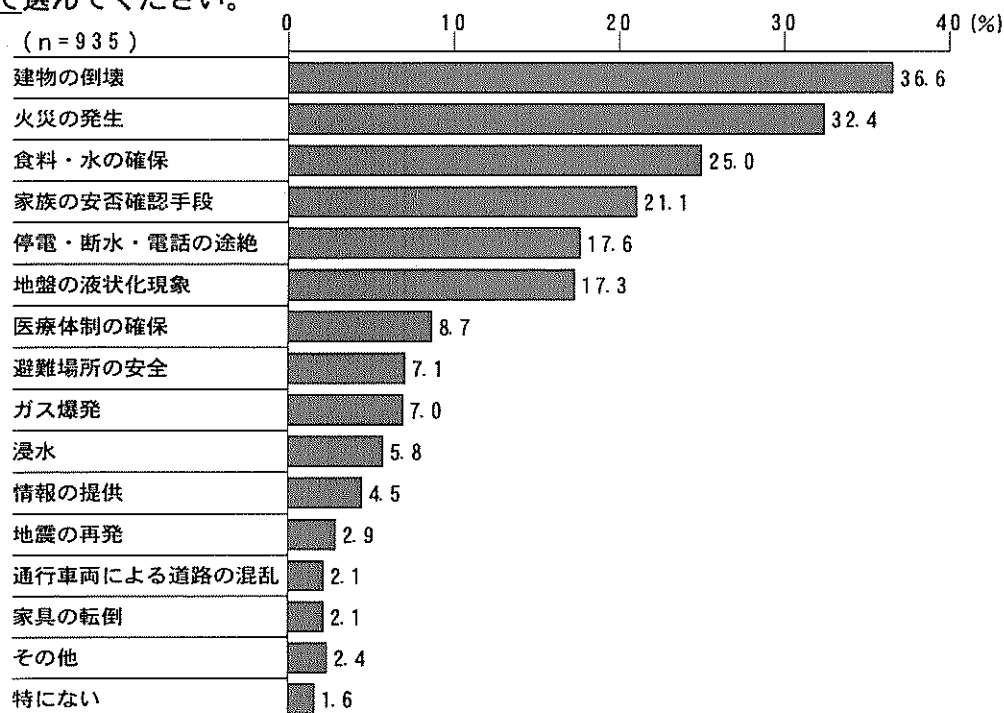
○インターネットをどの程度利用しているか聞いたところ、「自宅と学校・職場の双方で利用している」（32.6%）は3割を超え、「自宅だけで利用している」（24.2%）は2割台半ばとなっている。この2つと「学校・職場だけで利用している（したことがある）」（8.8%）を合わせた、インターネットの《利用者》（65.6%）は6割台半ばとなっている。「利用したことはないが、興味がある」（18.1%）は2割近くで、「利用したこともないし、興味もない」（14.4%）は1割台半ばとなっている。

## 【防災対策】

### (1) 震災時の不安

◇「建物の倒壊」が36.6%、「火災の発生」が32.4%

問4 身近に大地震が起きたとして、あなたが特に不安だと思うものを次の中から2つまで選んでください。

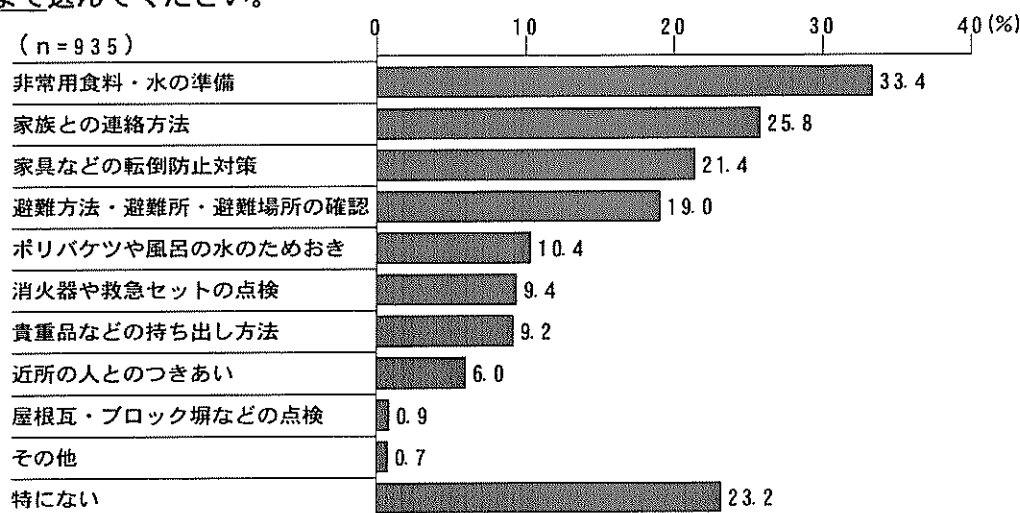


○大地震が起きたときに特に不安だと思うことを聞いたところ、「建物の倒壊」(36.6%)が4割近くで最も多く、次いで「火災の発生」(32.4%)、「食料・水の確保」(25.0%)などの順となっている。

### (2) 震災時の備え

◇「非常用食料・水の準備」が33.4%、「家族との連絡方法」が25.8%

問5 あなたの家庭で、大地震に備えて普段から特に心掛けていることを次の中から2つまで選んでください。

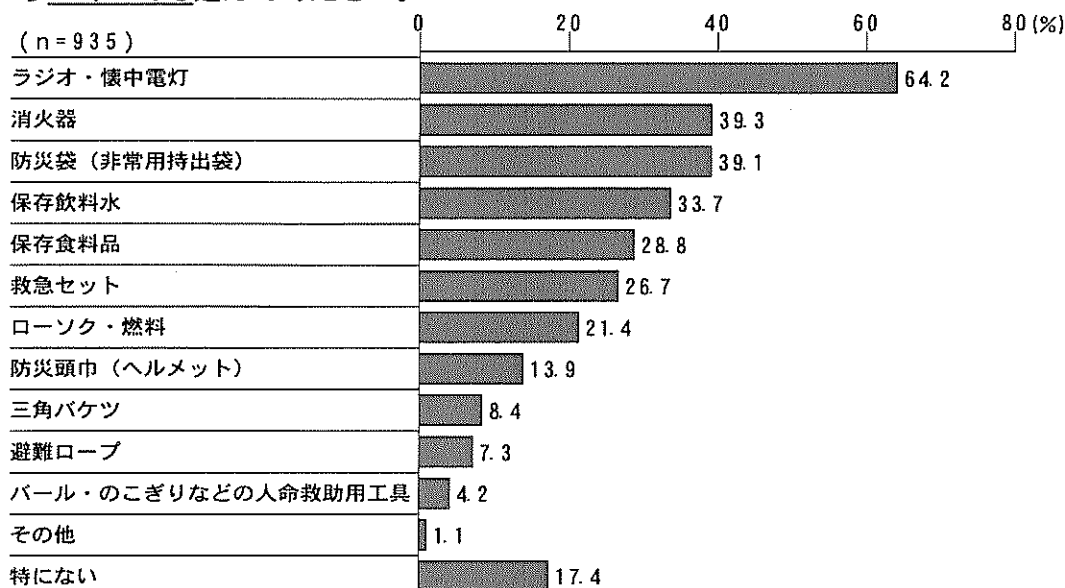


○大地震に備えて、家庭で普段から特に心掛けていることは何か聞いたところ、「非常用食料・水の準備」(33.4%)が3割を超えて最も多く、次いで「家族との連絡方法」(25.8%)、「家具などの転倒防止対策」(21.4%)などの順となっている。また、「特にない」(23.2%)は2割を超えている。

(3) 家庭内で準備している防災用品・用具

◇「ラジオ・懐中電灯」が64.2%で最も多い

問6 災害に備え、あなたのご家庭で現在準備している防災用品および用具を、次の中からいくつでも選んでください。

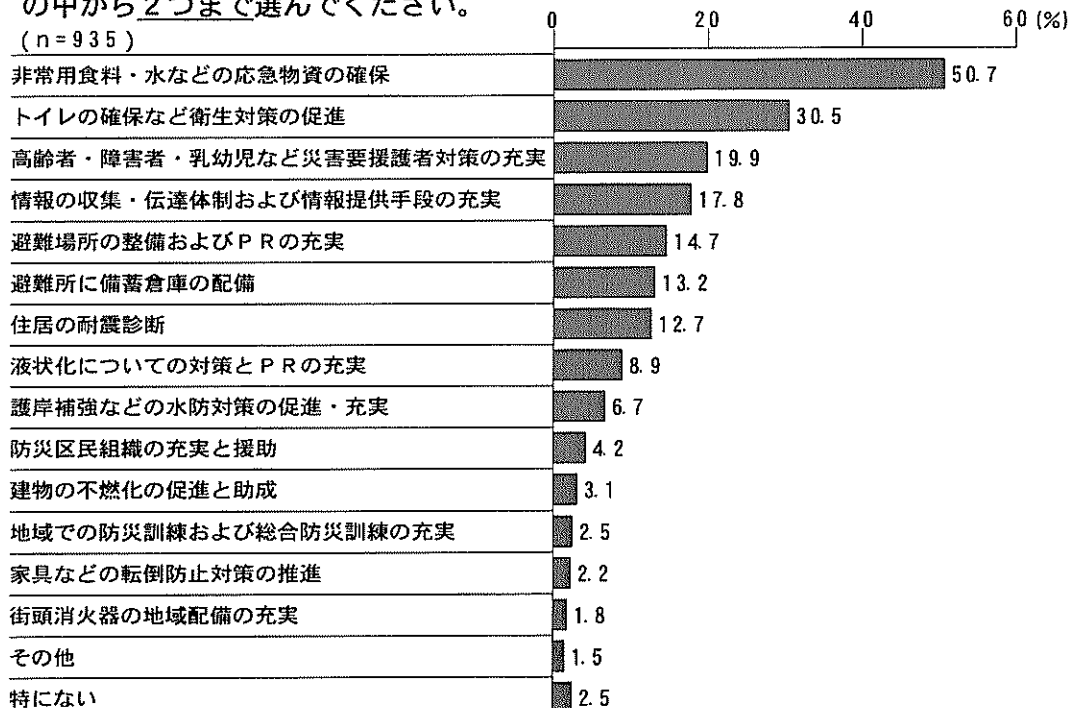


○災害に備えて家庭で準備している防災用品および用具を聞いたところ、「ラジオ・懐中電灯」(64.2%)が6割台半ばで最も多く、次いで「消火器」(39.3%)、「防災袋(非常用持出袋)」(39.1%)などの順となっている。

(4) 防災対策への要望

◇「非常用食料・水などの応急物資の確保」が50.7%で最も多い

問7 あなたが、大地震の際の防災対策として、江東区に特に力を入れてほしいことを次の中から2つまで選んでください。



○大地震の際の防災対策として特に力を入れてほしいことは何か聞いたところ、「非常用食料・水などの応急物資の確保」(50.7%)がほぼ5割で最も多く、次いで「トイレの確保など衛生対策の促進」(30.5%)などの順となっている。

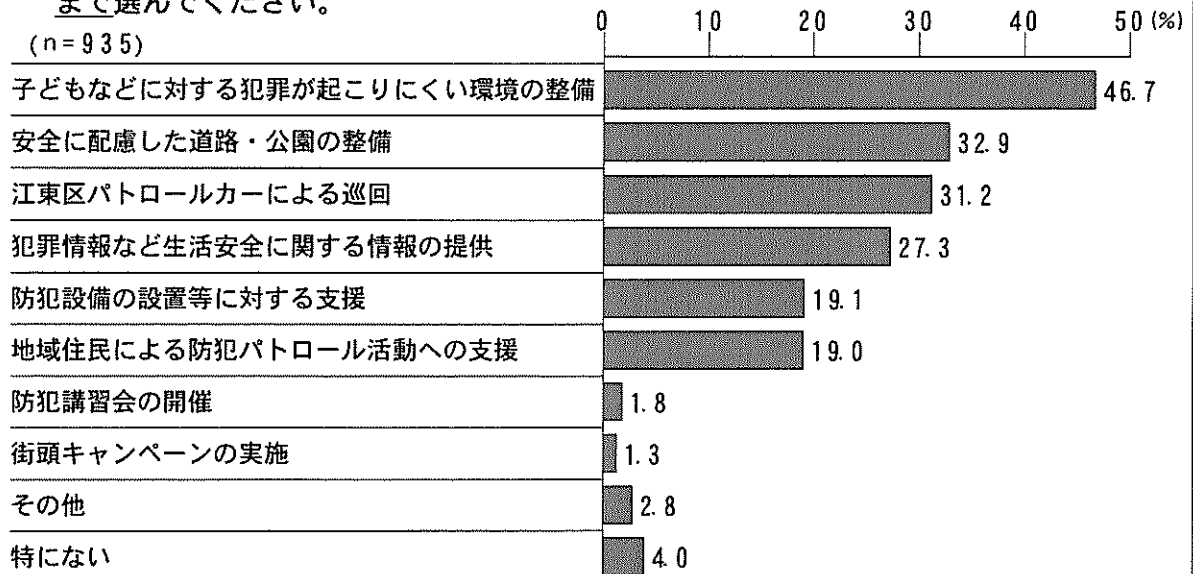
## 【生活安全】

### (1) 治安対策への要望

◇「子どもなどに対する犯罪が起こりにくい環境の整備」が46.7%で最も多い

問8 あなたが、治安対策として、江東区に特に力を入れて欲しいことを次の中から2つまで選んでください。

(n=935)



○治安対策として特に力を入れてほしいことは何か聞いたところ、「子どもなどに対する犯罪が起こりにくい環境の整備」(46.7%)が5割近くで最も多く、次いで「安全に配慮した道路・公園の整備」(32.9%)、「江東区パトロールカーによる巡回」(31.2%)、「犯罪情報など生活安全に関する情報の提供」(27.3%)、「防犯設備の設置等に対する支援」(19.1%)、「地域住民による防犯パトロール活動への支援」(19.0%)などの順となっている。

## 【NPO】

### (1) NPOの認知状況

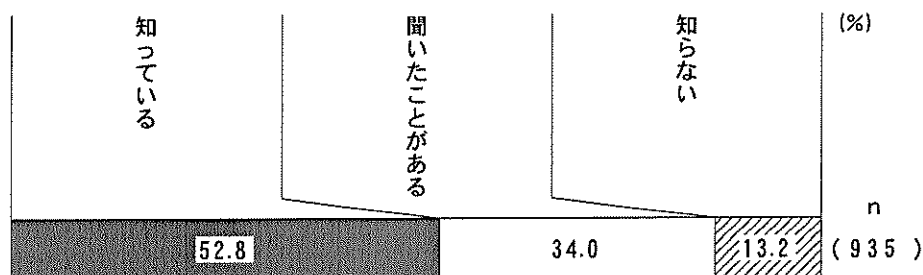
◇「知っている」は52.8%

問9 あなたは、NPOという市民活動団体について、知っていますか、参加・協力したいと思いますか。

※町会・自治会活動以外の地域活動、市民活動を対象とします。

※NPOとは…福祉、環境、まちづくりなど様々な問題解決のために活動する、営利を目的としない市民活動団体。

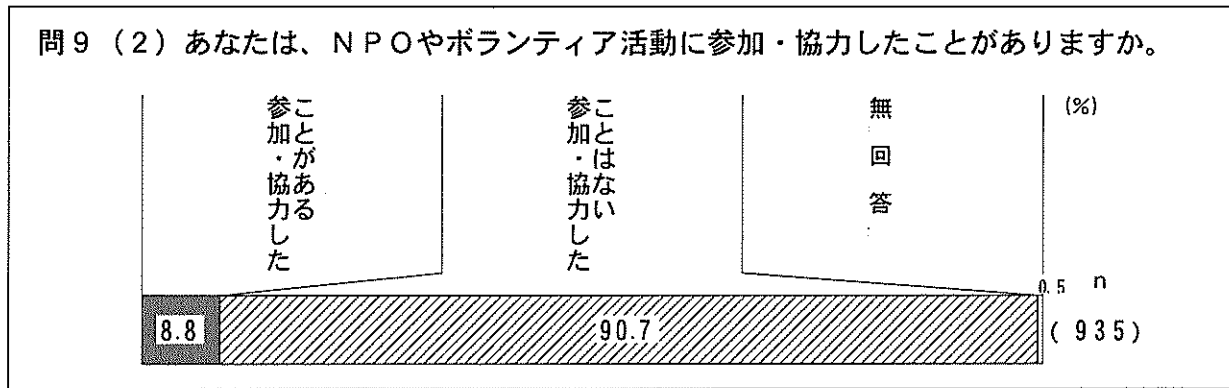
(1) あなたは、NPOという市民活動団体を知っていますか。



○NPOについて知っているか聞いたところ、「知っている」(52.8%)は5割を超えている。「聞いたことがある」(34.0%)は3割台半ばで、「知らない」(13.2%)は1割を超えている。

(2) NPOやボランティア活動への参加・協力状況

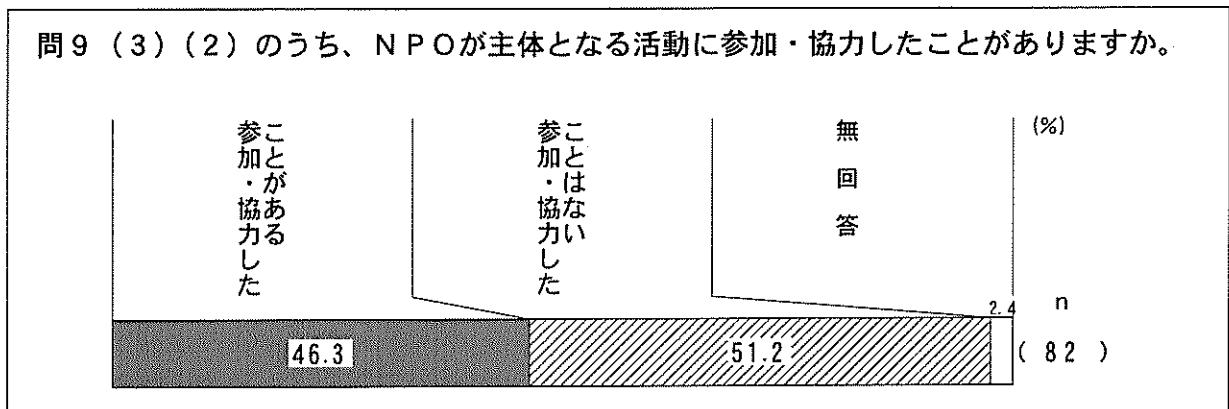
◇「参加・協力したことがある」は8.8%



○NPOやボランティア活動に参加・協力した経験があるか聞いたところ、「参加・協力したことがある」(8.8%)はほぼ1割となっている。

(3) NPO主体の活動への参加・協力状況

◇NPOが主体となる活動に「参加・協力したことがある」は46.3%

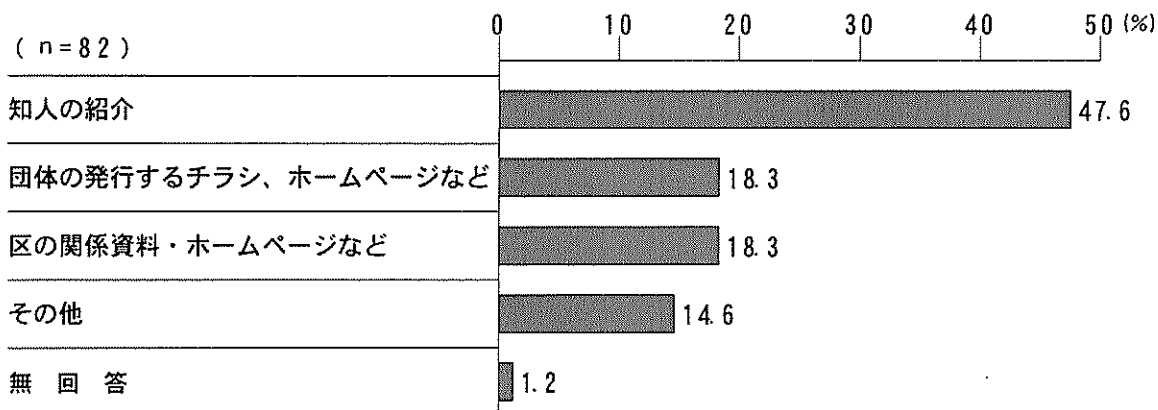


○NPOやボランティア活動に「参加・協力したことがある」と答えた方(82人)に、NPOが主体となる活動に参加・協力したことがあるか聞いたところ、「参加・協力したことがある」(46.3%)は4割台半ばとなっている。

(4) NPOやボランティア活動に参加するきっかけ

◇「知人の紹介」が47.6%で最も多い

問9 (4) NPOやボランティア活動に参加するきっかけはどのようなことでしたか。主なものを1つだけ選んでください。

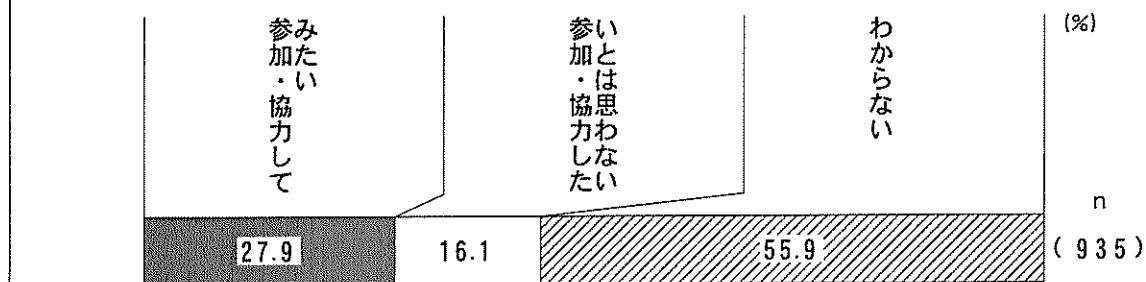


○NPOやボランティア活動に「参加・協力したことがある」と答えた方(82人)に、NPOやボランティア活動に参加したきっかけは何か聞いたところ、「知人の紹介」(47.6%)が5割近く、「団体の発行するチラシ、ホームページなど」(18.3%)、「区の関係資料・ホームページなど」(18.3%)はともに2割近くとなっている。

(5) NPOやボランティア活動への今後の参加協力意向

◇「参加・協力してみたい」は27.9%

問9 (5) あなたは、今後NPOやボランティアの活動に参加・協力したいと思いますか。



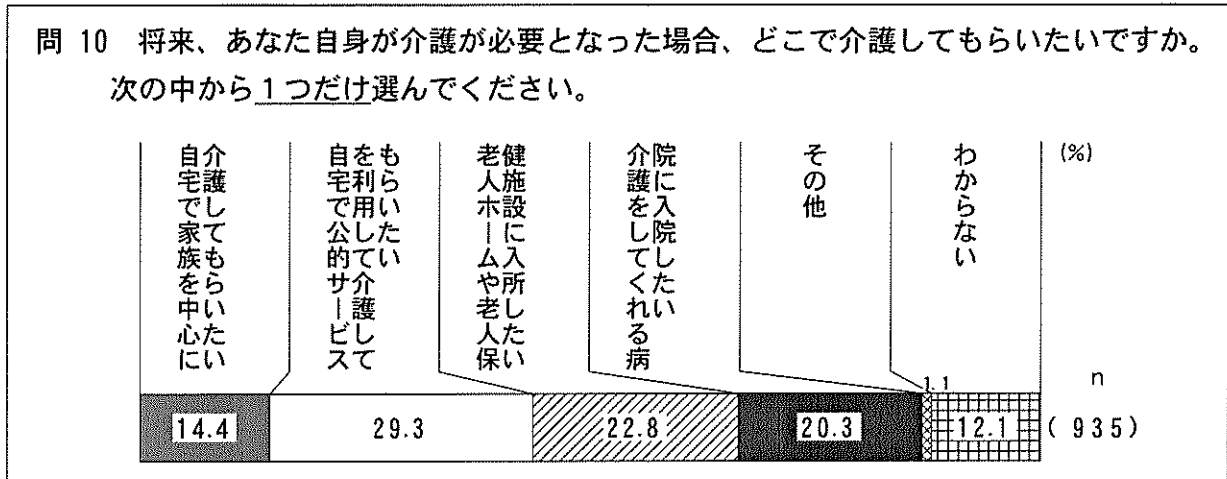
○今後、NPOやボランティアの活動に参加・協力したいと思うか聞いたところ、「参加・協力してみたい」(27.9%)は3割近くとなっている。「参加・協力したいとは思わない」(16.1%)は1割台半ばで、「わからない」(55.9%)は5割台半ばとなっている。



## 【介護保険】

### (1) 将来、介護してもらいたい場所

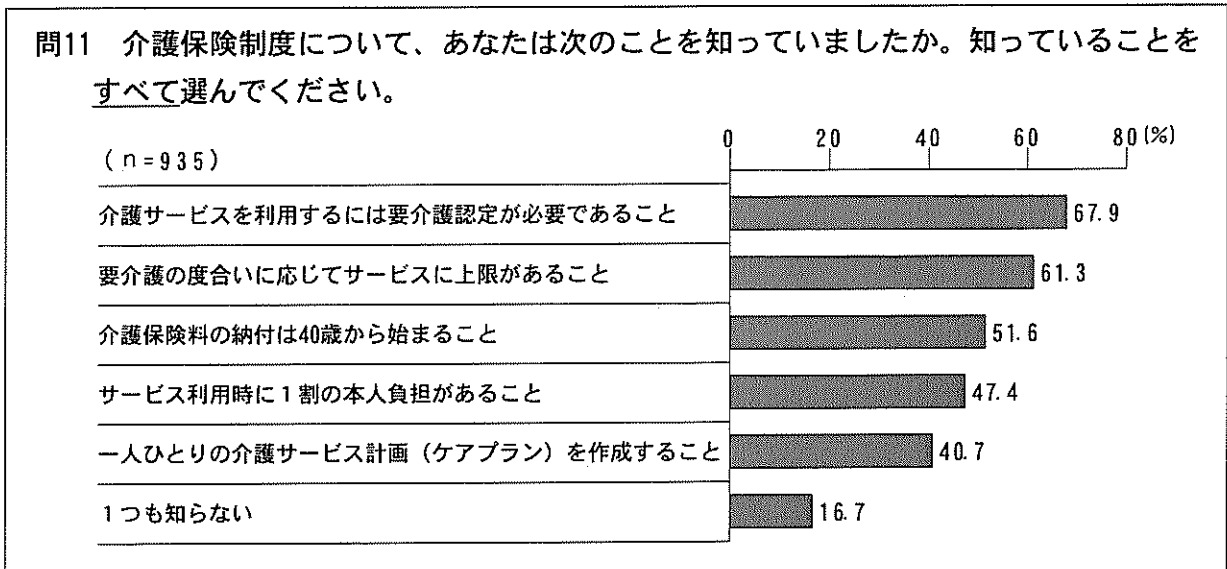
◇「自宅で公的サービスを利用して介護してもらいたい」が29.3%で最も多い



○将来介護が必要となったとき、どこで介護してもらいたいか聞いたところ、「自宅で公的サービスを利用して介護してもらいたい」(29.3%)がほぼ3割で最も多くなっている。「老人ホームや老人保健施設に入所したい」(22.8%)は2割を超え、「介護をしてくれる病院に入院したい」(20.3%)は2割、「自宅で家族を中心に介護してもらいたい」(14.4%)は1割台半ばとなっている。

### (2) 介護保険の内容認知状況

◇「介護サービスを利用するには要介護認定が必要であること」が67.9%で最も認知度が高い

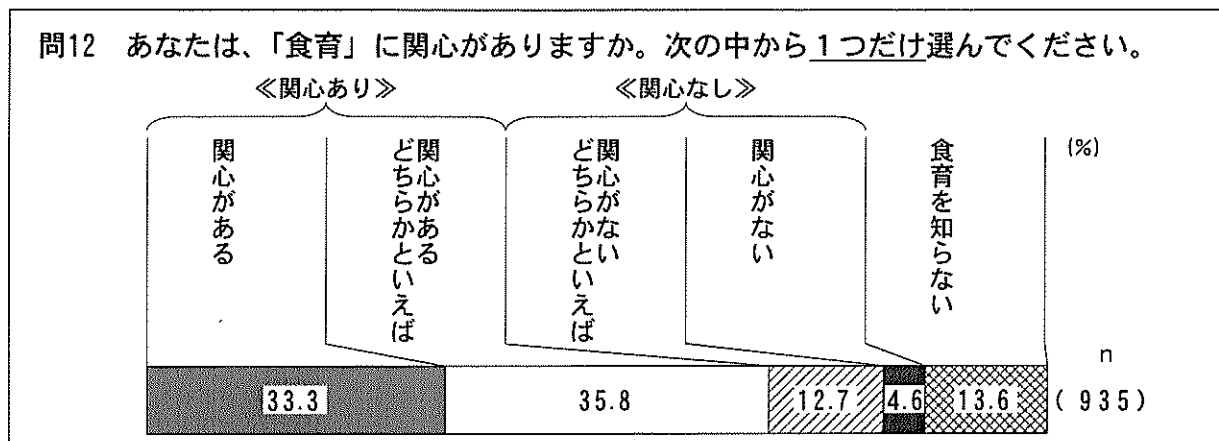


○介護保険制度について知っていることをあげてもらったところ、「介護サービスを利用するには要介護認定が必要であること」(67.9%)が7割近くで最も認知度が高く、次いで「要介護の度合いに応じてサービスに上限があること」(61.3%)、「介護保険料の納付は40歳から始まること」(51.6%)、「サービス利用時に1割の本人負担があること」(47.4%)、「一人ひとりの介護サービス計画(ケアプラン)を作成すること」(40.7%)の順となっている。

## 【食育】

### (1) 食育に対する関心度

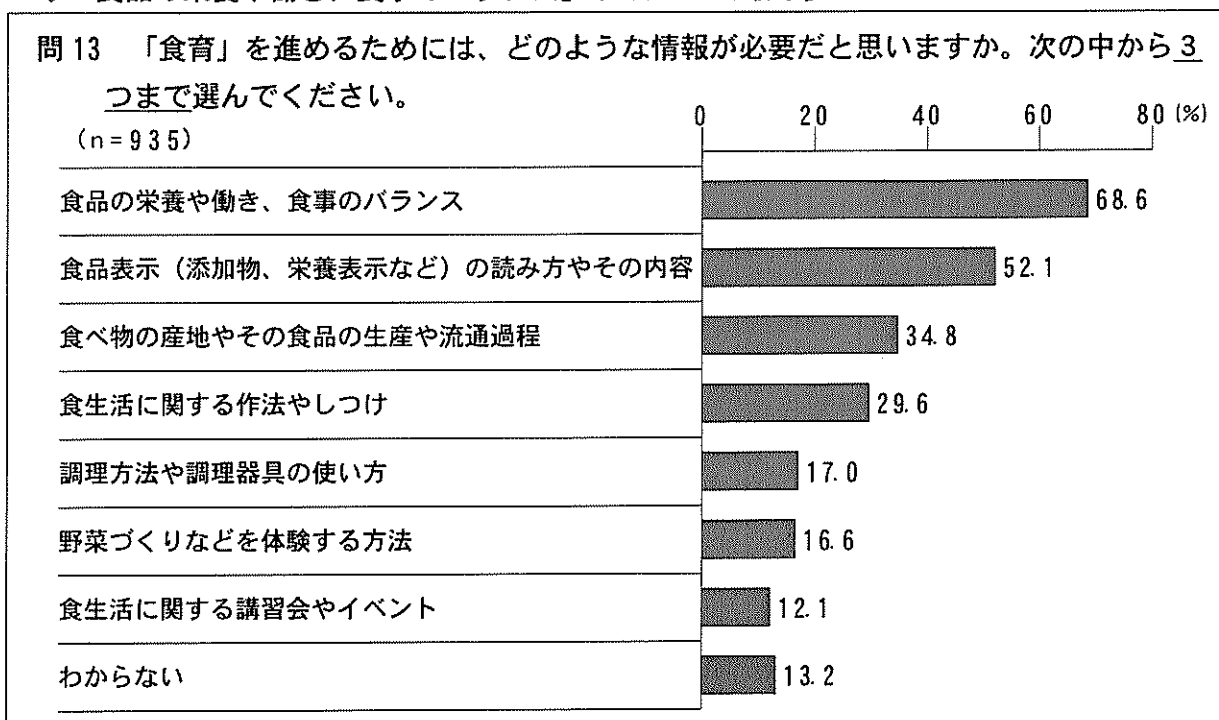
◇「関心あり」は 69.1%



- 「食育」に関心があるか聞いたところ、「関心がある」(33.3%)と「どちらかといえば関心がある」(35.8%)の2つを合わせた、「関心あり」(69.1%)はほぼ7割となっている。「どちらかといえば関心がない」(12.7%)と「関心がない」(4.6%)の2つを合わせた「関心なし」(17.3%)は2割近くで、「食育を知らない」(13.6%)は1割を超える程度となっている。

### (2) 食育を進めるために必要な情報

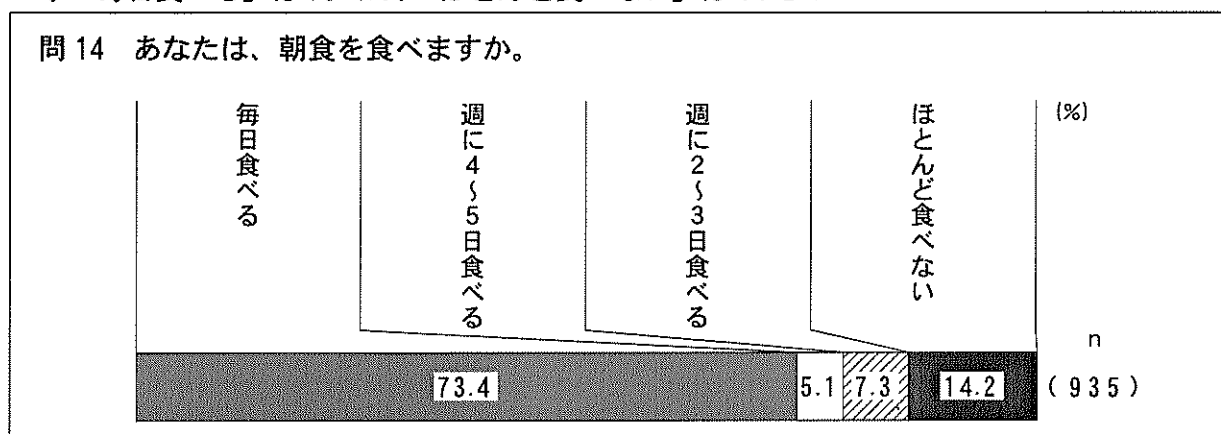
◇「食品の栄養や働き、食事のバランス」が 68.6%で最も多い



- 「食育」を進めるために必要だと思う情報は何か聞いたところ、「食品の栄養や働き、食事のバランス」(68.6%)が7割近くで最も多く、次いで「食品表示（添加物、栄養表示など）の読み方やその内容」(52.1%)、「食べ物の産地やその食品の生産や流通過程」(34.8%)、「食生活に関する作法やしつけ」(29.6%)、「調理方法や調理器具の使い方」(17.0%)などの順となっている。

### (3) 朝食の摂取状況

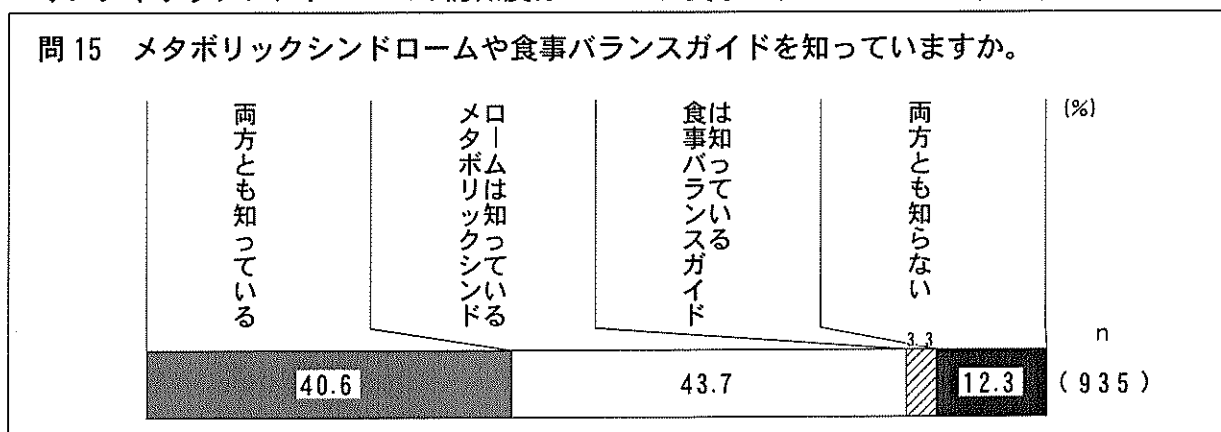
◇「毎日食べる」は73.4%、「ほとんど食べない」は14.2%



○朝食を食べているか聞いたところ、「毎日食べる」(73.4%)は7割を超えている。「週に4〜5日食べる」(5.1%)、「週に2〜3日食べる」(7.3%)はいずれも1割に満たないが、「ほとんど食べない」(14.2%)は1割台半ばとなっている。

### (4) メタボリックシンドロームや食事バランスガイドの認知状況

◇メタボリックシンドロームの認知度は84.3%、食事バランスガイドの認知度は43.9%

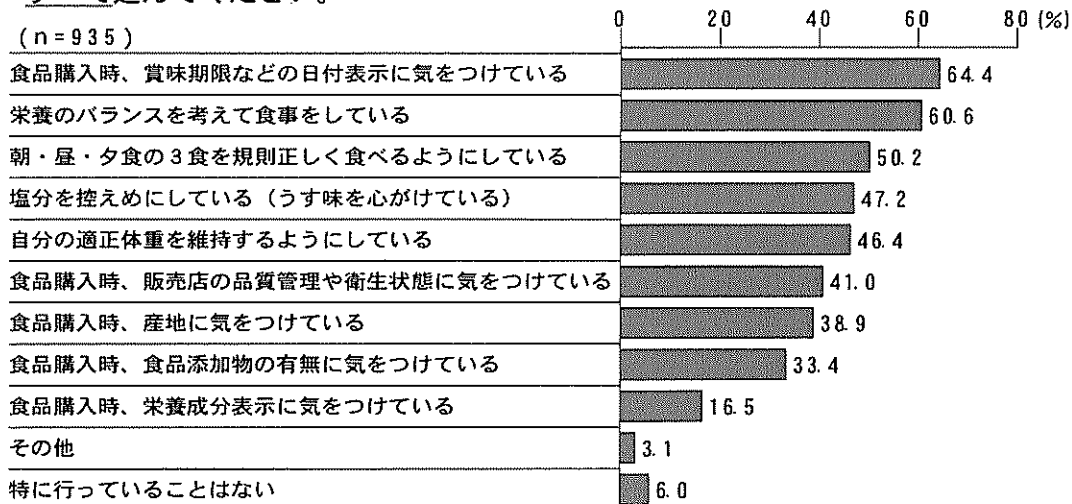


○「メタボリックシンドローム」と「食事バランスガイド」を知っているか聞いたところ、「両方とも知っている」(40.6%)と「メタボリックシンドロームは知っている」(43.7%)の2つを合わせた、メタボリックシンドロームを知っている方(84.3%)は8割台半ばとなっている。「両方とも知っている」(40.6%)と「食事バランスガイドは知っている」(3.3%)の2つを合わせた、食事バランスガイドを知っている方(43.9%)は4割台半ばとなっている。

(5) 食生活で気をつけていること

◇「食品購入時、賞味期限などの日付表示に気をつけている」が64.4%で最も多い

問16 あなたが、食生活で気をつけていることは何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。



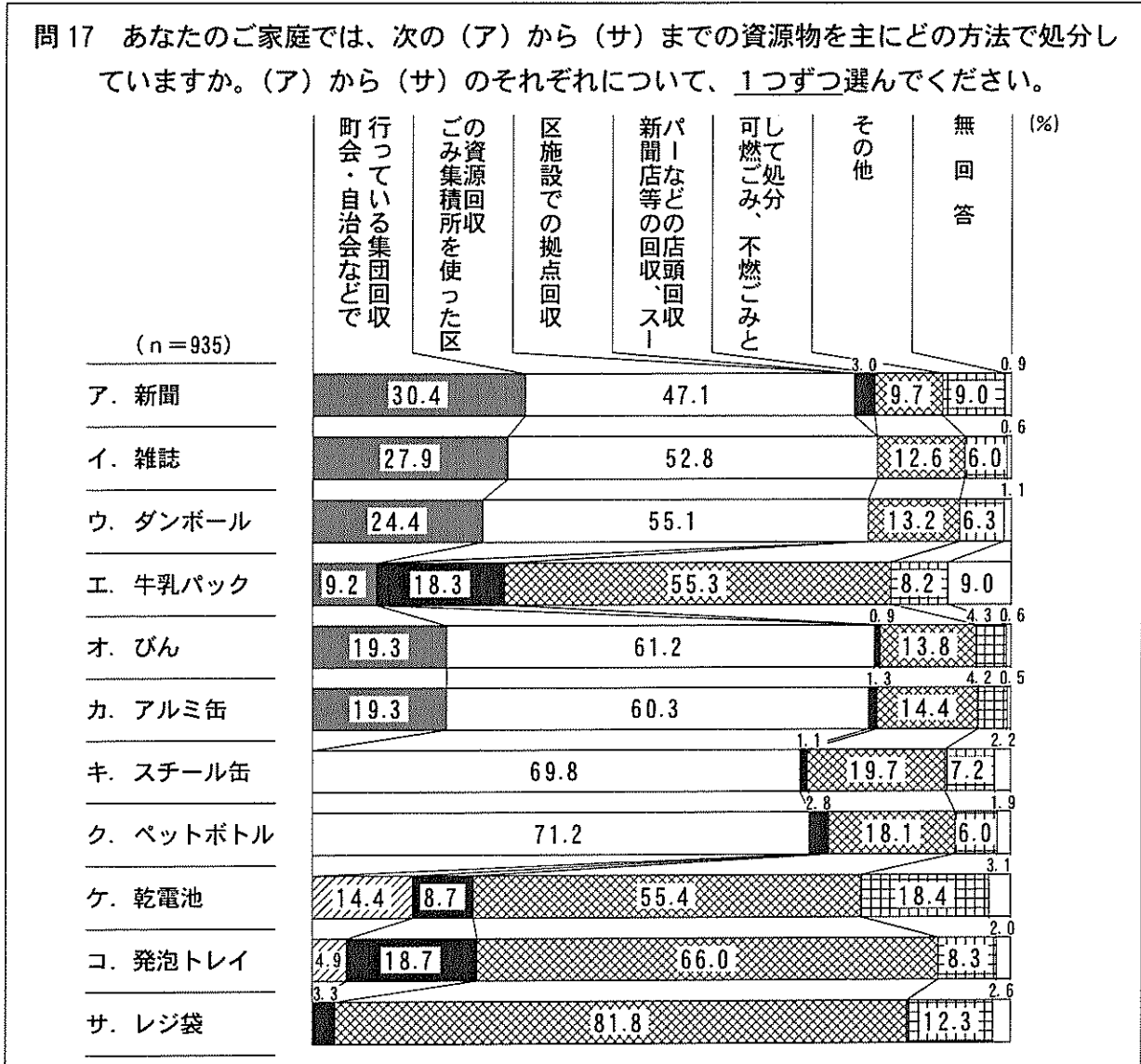
○食生活で気をつけていることは何か聞いたところ、「食品購入時、賞味期限などの日付表示に気をつけている」(64.4%)が6割台半ばで最も多く、次いで「栄養のバランスを考えて食事をしている」(60.6%)、「朝・昼・夕食の3食を規則正しく食べるようにしている」(50.2%)、「塩分を控えめにしている (うす味を心がけている)」(47.2%)、「自分の適正体重を維持するようにしている」(46.4%)などの順となっている。

【清掃リサイクル】

(1) 資源物の処分方法

◇「可燃ごみ、不燃ごみとして処分」が最も多い資源物はレジ袋で81.8%

問17 あなたのご家庭では、次の(ア)から(サ)までの資源物を主にどの方法で処分していますか。(ア)から(サ)のそれぞれについて、1つずつ選んでください。



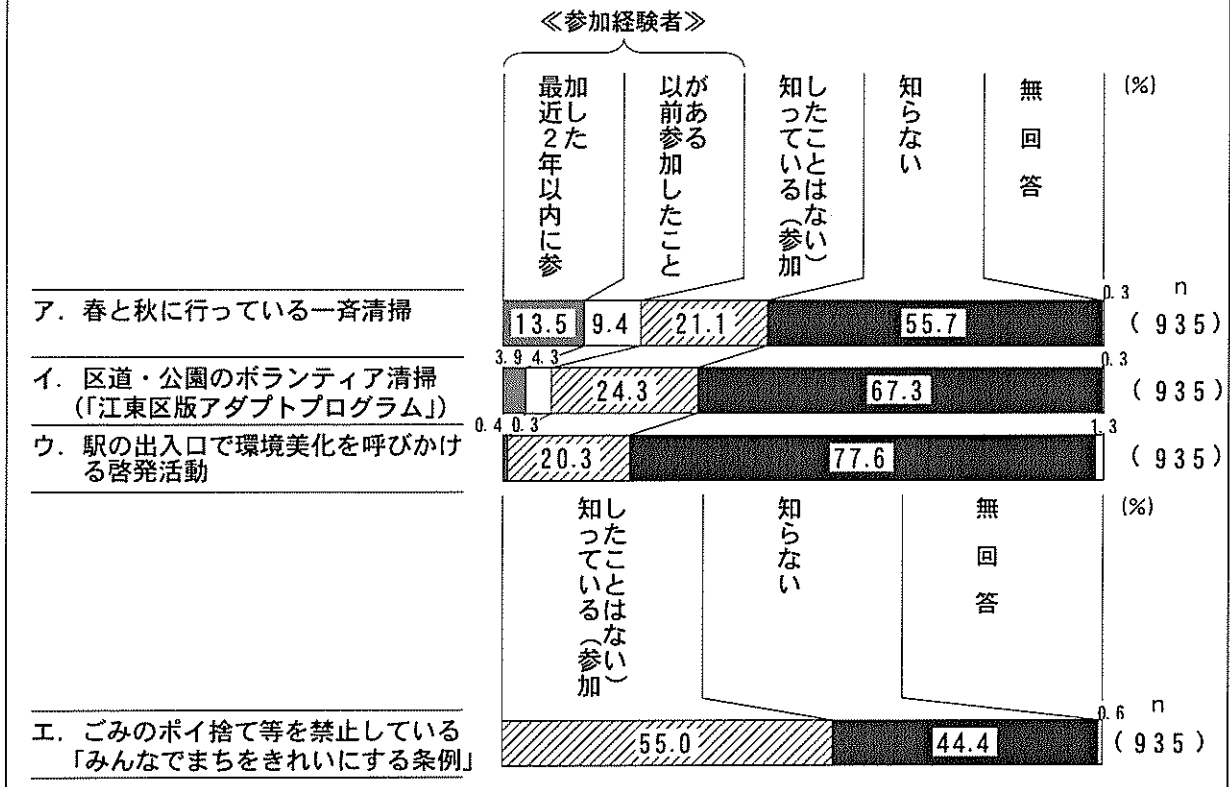
○資源物の処分方法について、11種類に分けて聞いた。

「可燃ごみ、不燃ごみとして処分」が最も多いのは“レジ袋”(81.8%)で、次いで“発泡トレイ”(66.0%)、“乾電池”(55.4%)、“牛乳パック”(55.3%)の順となっている。それ以外の7項目はいずれも2割を下回っており、最も割合が低いのは“新聞”(9.7%)となっている。

(2) 区の美化活動への参加と認知状況

◇ “春と秋に行っている一斉清掃” への《参加経験者》は 22.9%

問 18 区ではまちをきれいにするために、次のような取組みを行っています。次の (ア) から (エ) について、あなたの参加状況を1つずつ選んでください。



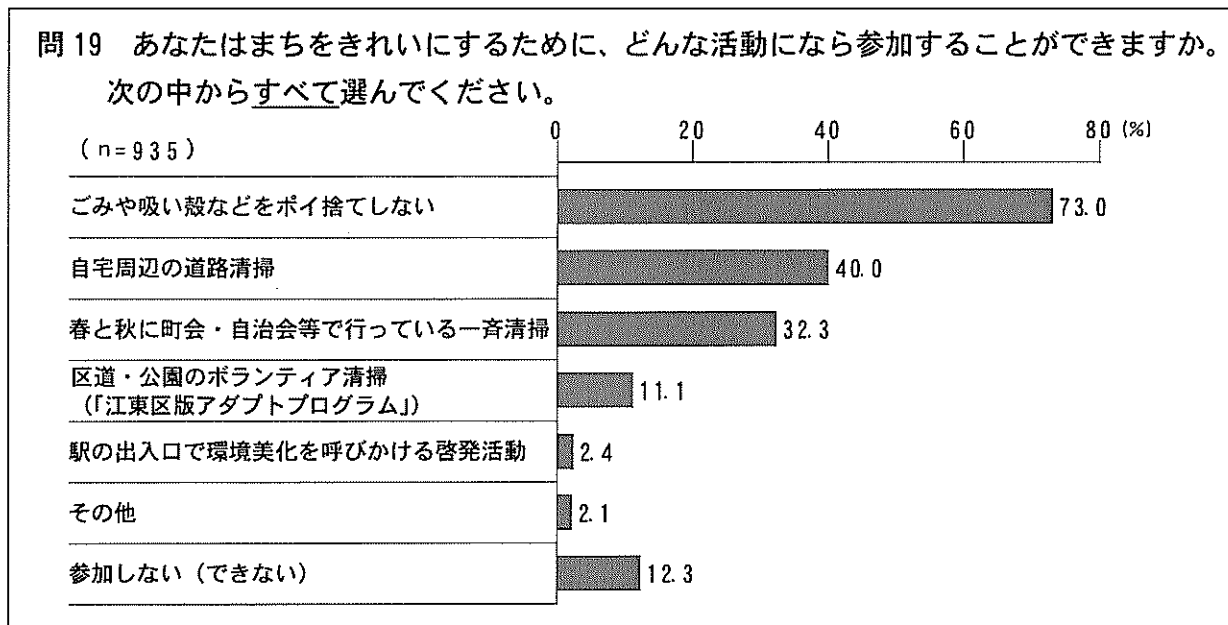
○まちをきれいにするためにやっている4つの取組みの参加経験と認知度を聞いた。

「最近2年以内に参加した」と「以前参加したことがある」の2つを合わせた《参加経験者》の割合は、“春と秋に行っている一斉清掃”(22.9%)で2割を超えており、“区道・公園のボランティア清掃(「江東区版アダプトプログラム」)”(8.2%)は1割に満たない。

さらに「知っている(参加したことはない)」を加えた認知度については、“ごみのポイ捨て等を禁止している「みんなでまちをきれいにする条例」”(55.0%)が5割台半ばで最も多く、次いで“春と秋に行っている一斉清掃”(44.0%)が4割台半ばとなっている。

### (3) まちの美化活動への参加意向

◇「ごみや吸い殻などをポイ捨てしない」が73.0%で最も多い



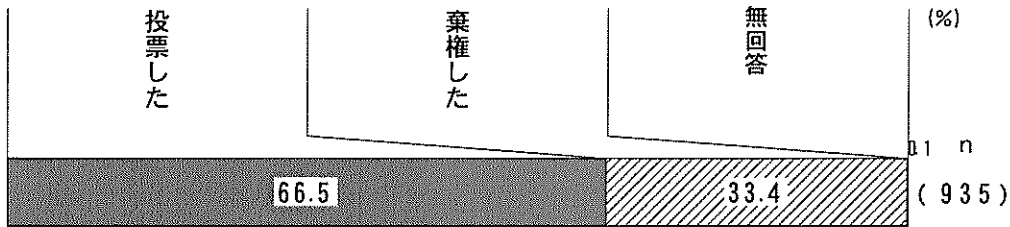
○まちをきれいにするために、どのような活動に参加できるか聞いたところ、「ごみや吸い殻などをポイ捨てしない」(73.0%)が7割を超えて最も多く、次いで「自宅周辺の道路清掃」(40.0%)、「春と秋に町会・自治会等で行っている一斉清掃」(32.3%)、「区道・公園のボランティア清掃(「江東区版アダプトプログラム」)」(11.1%)、「駅の出入口で環境美化を呼びかける啓発活動」(2.4%)の順となっている。

【選挙】

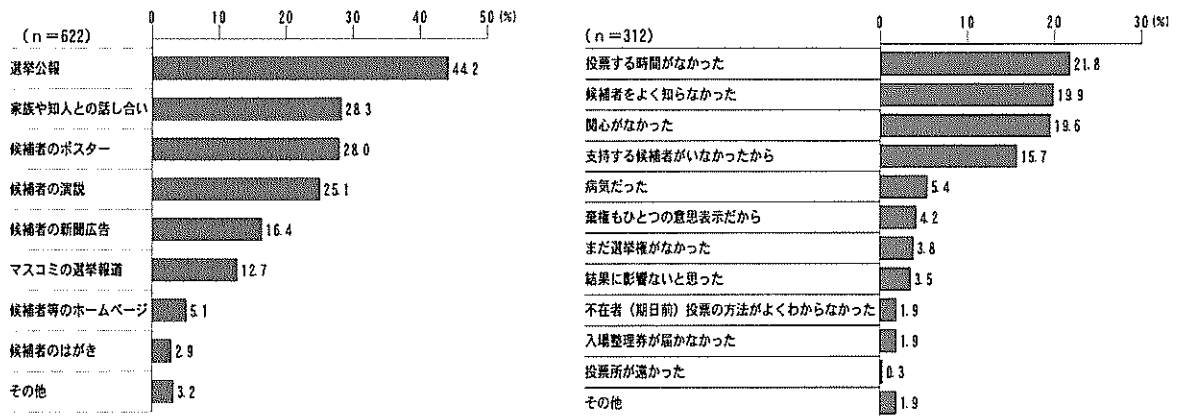
(1) 江東区議会議員・江東区長選挙の投票の有無

◇「投票した」は66.5%

問20 平成19年4月22日は、江東区議会議員・江東区長選挙の投票日でしたが、あなたは投票しましたか。



【候補者を選ぶのに役立つもの】(2つ以内で回答) 【棄権した理由】



- 平成19年4月に行われた江東区議会議員・江東区長選挙に投票したか聞いたところ、「投票した」(66.5%)は6割台半ばとなっている。なお、実際の江東区議会議員選挙の投票率は47.90%であった。
- 平成19年4月に行われた江東区議会議員・江東区長選挙に「投票した」と答えた方(622人)に、候補者を選ぶのに役立つものは何か聞いたところ、「選挙公報」(44.2%)が4割台半ばで最も多く、次いで「家族や知人との話し合い」(28.3%)、「候補者のポスター」(28.0%)、「候補者の演説」(25.1%)、「候補者の新聞広告」(16.4%)などの順となっている。
- 平成19年4月に行われた江東区議会議員・江東区長選挙に「棄権した」と答えた方(312人)に、その理由を聞いたところ、「投票する時間がなかった」(21.8%)が2割を超えて最も多く、次いで「候補者をよく知らなかった」(19.9%)、「関心がなかった」(19.6%)、「支持する候補者がいなかったから」(15.7%)などの順となっている。

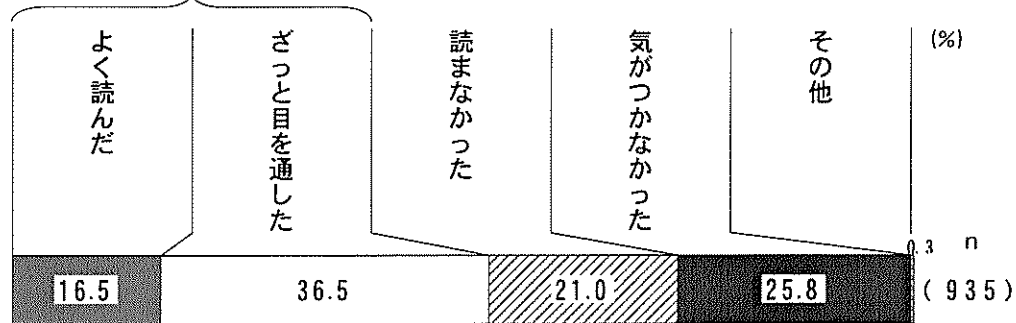


(2) 「選挙公報」の閲読状況

◇《閲読率》は53.0%

問21 区の選挙管理委員会では、江東区議会議員・江東区長選挙の「選挙公報」を新聞折り込みや区内各施設、区内各駅に公報スタンドを設置し配布しましたが、あなたはお読みになりましたか。次の中から1つだけ選んでください。

《閲読率》



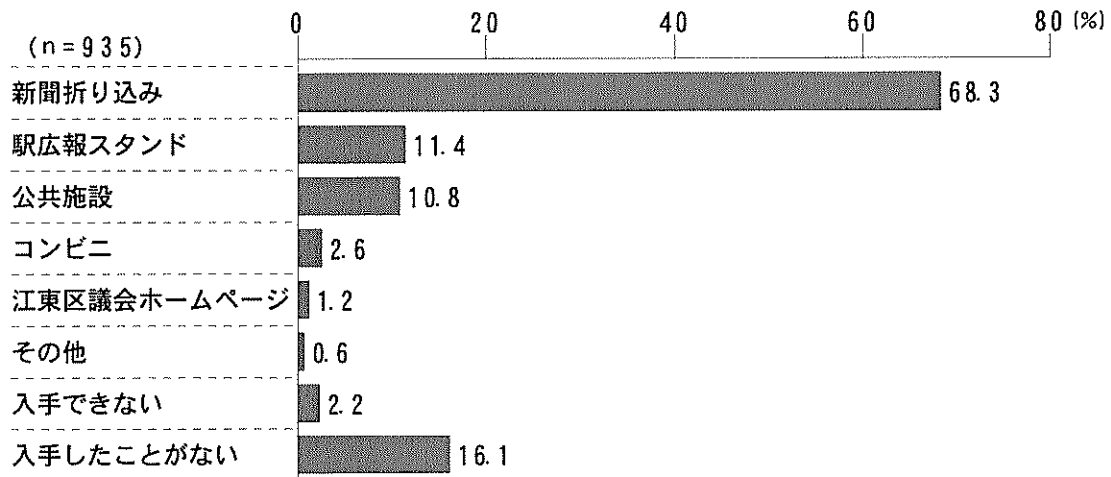
○江東区議会議員・江東区長選挙の「選挙公報」を読んだか聞いたところ、「よく読んだ」(16.5%)と「ざっと目を通した」(36.5%)の2つを合わせた《閲読率》(53.0%)は5割を超えている。「読まなかった」(21.0%)はほぼ2割で、「気がつかなかった」(25.8%)は2割台半ばとなっている。

【こうとう区議会だより】

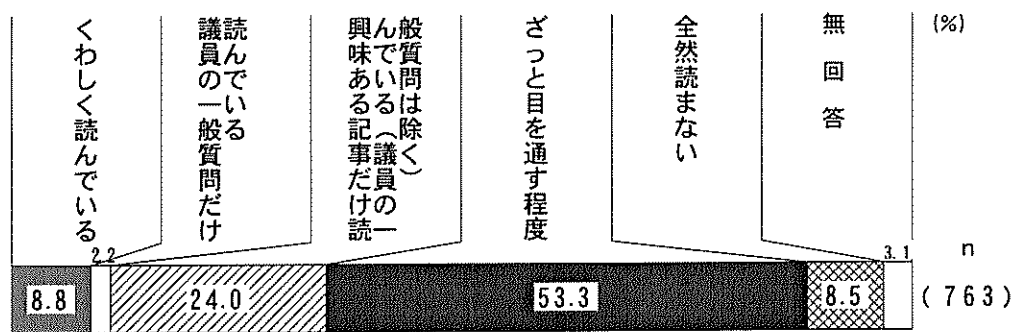
(1) 「こうとう区議会だより」の入手方法、閲読状況

◇ 「新聞折り込み」が68.3%で最も多い

問 22 「こうとう区議会だより」の入手方法は、新聞折り込み、各交通機関の駅広報スタンド、コンビニ、公共施設（図書館・出張所など）がありますが、どのような方法で入手されていますか。次の中から2つまで選んでください。



【「こうとう区議会だより」の閲読状況】

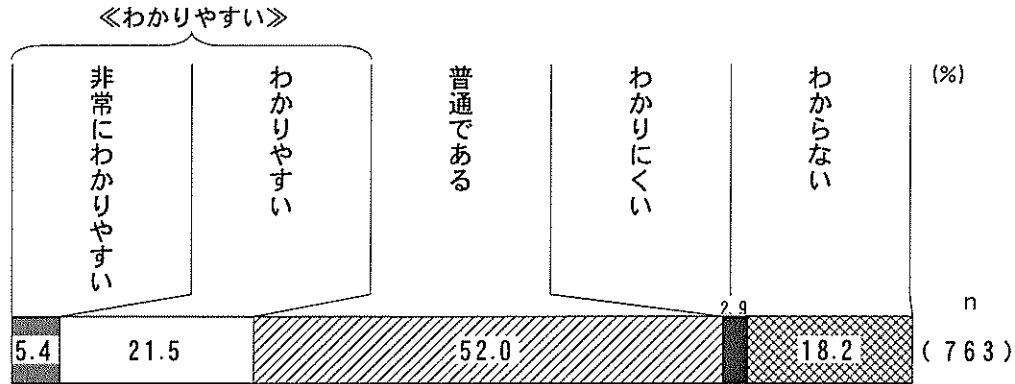


- 「こうとう区議会だより」をどのような方法で入手しているか聞いたところ、「新聞折り込み」（68.3%）は7割近くとなっている。「駅広報スタンド」（11.4%）、「公共施設」（10.8%）はともに1割を超えており、「入手したことがない」（16.1%）は1割台半ばとなっている。
- 「こうとう区議会だより」を入手している方（763人）に、「こうとう区議会だより」をどの位読んでいるか聞いたところ、「くわしく読んでいる」（8.8%）は1割近くで、「興味ある記事だけ読んでいる（議員の一般質問は除く）」（24.0%）は2割台半ばとなっている。「ざっと目を通す程度」（53.3%）が5割を超えて最も多くなっている。

(2) 「こうとう区議会だより」の読みやすさ

◇《わかりやすい》は 26.9%、「普通である」が 52.0%

問 22-2 「こうとう区議会だより」は、平成 18 年第一回定例号より、紙面構成を 8 ページ（全面カラー化）に変更し、文字を大きくするなど読みやすい広報誌にいたしました。紙面内容をどのように考えていますか。次の中から 1 つだけ 選んでください。



○「こうとう区議会だより」を入手している方（763 人）に、平成 18 年第一回定例号から全面カラー化や文字を大きくするなど読みやすくなった「こうとう区議会だより」の紙面内容がわかりやすいと思うか聞いたところ、「非常にわかりやすい」（5.4%）と「わかりやすい」（21.5%）の 2 つを合わせた《わかりやすい》（26.9%）は 3 割近くとなっている。「普通である」（52.0%）は 5 割を超えており、「わかりにくい」（2.9%）はわずかとなっている。

【長期基本計画】

(1) 過去1年間に参加した生涯学習・スポーツ

◇《参加経験者》は“伝統文化・芸能（祭りなど）”が最も多く15.3%

問23 あなたは、この1年間に次の各分野の学習活動や講座、地域の集まりなどに参加したことがありますか。次の(ア)から(シ)の各分野ごとに1つずつ選んでください。

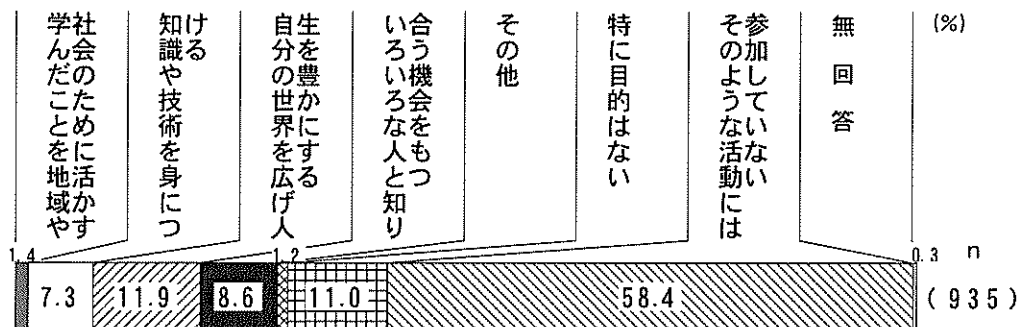
(n=935)	初めて参加	以前から参加	参加しない	(無回答)
ア. 趣味（茶道・生け花・書道など）	1.5%	4.0%	93.5%	1.1%
イ. パソコン	1.3%	1.6%	96.3%	0.9%
ウ. 娯楽（囲碁・将棋など）	0.2%	0.6%	98.1%	1.1%
エ. 教養（語学・歴史・文学など）	1.1%	2.4%	95.6%	1.0%
オ. 芸術・文化（絵画・音楽など）	1.0%	4.2%	93.8%	1.1%
カ. 職業・技術（資格取得）	0.2%	1.5%	97.2%	1.1%
キ. 国際理解・国際協力	0.2%	0.2%	98.2%	1.4%
ク. ボランティア活動	0.5%	3.7%	94.7%	1.1%
ケ. NPO活動	0.1%	1.2%	97.5%	1.2%
コ. 伝統文化・芸能（祭りなど）	1.8%	13.5%	83.5%	1.2%
サ. レクリエーション（つり、ハイキングなど）	0.5%	4.2%	94.1%	1.2%
シ. スポーツ（野球・テニスなど）	1.3%	7.2%	90.3%	1.3%

○この1年間に生涯学習活動やスポーツに参加したか、12の分野ごとに聞いたところ、「初めて参加」と「以前から参加」の2つを合わせた《参加経験者》は、“伝統文化・芸能（祭りなど）”（15.3%）が1割台半ばで最も多く、次いで“スポーツ（野球・テニスなど）”（8.5%）、“趣味（茶道・生け花・書道など）”（5.5%）、“芸術・文化（絵画・音楽など）”（5.2%）などの順となっている。

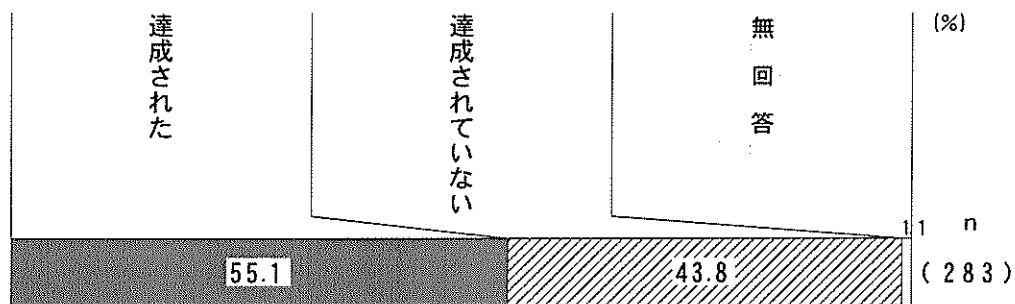
(2) 生涯学習活動に参加する目的

◇「自分の世界を広げ人生を豊かにする」が11.9%

問24 あなたが、学習活動や講座、地域の集まりなどに参加される主な目的は何ですか。  
次の中から1つだけ選んでください。



【目的達成の有無】



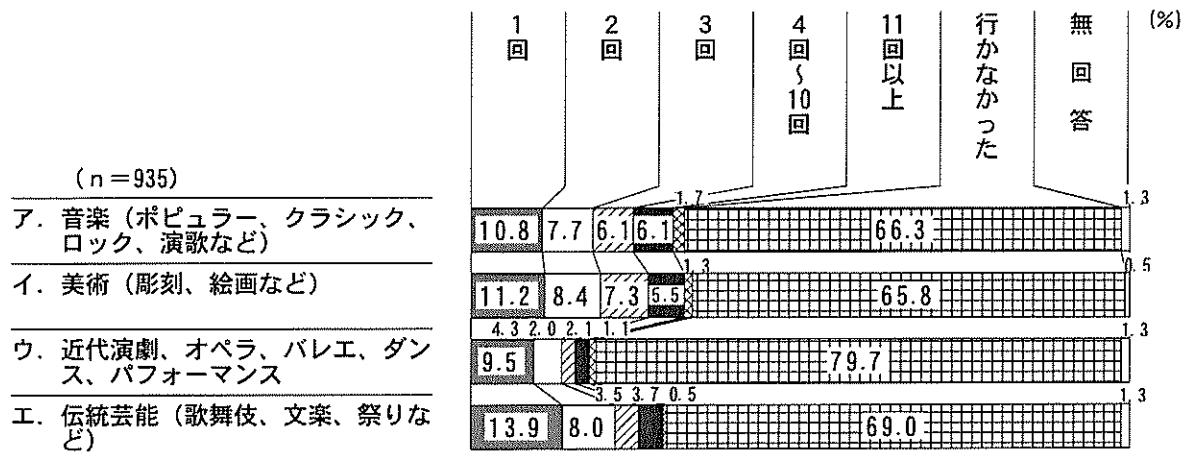
○生涯学習活動に参加する目的を聞いたところ、「自分の世界を広げ人生を豊かにする」(11.9%)が1割を超えて最も多く、次いで「いろいろな人と知り合う機会をもつ」(8.6%)、「知識や技術を身につける」(7.3%)などの順となっている。また、「そのような活動には参加していない」(58.4%)は6割近くとなっている。

○生涯学習活動に参加している方(283人)に、参加した目的が達成できたか聞いたところ、「達成された」(55.1%)は5割台半ばとなっている。

(3) 芸術、文化、伝統芸能の鑑賞頻度

◇「美術（彫刻、絵画など）」を鑑賞した方が 33.7%で最も多い

問 25 あなたは、この1年間に次の芸術、文化、伝統芸能を観たり聴いたりするために、どのくらい足を運びましたか。次の（ア）から（エ）のそれぞれについてその回数を1つずつ選んでください。



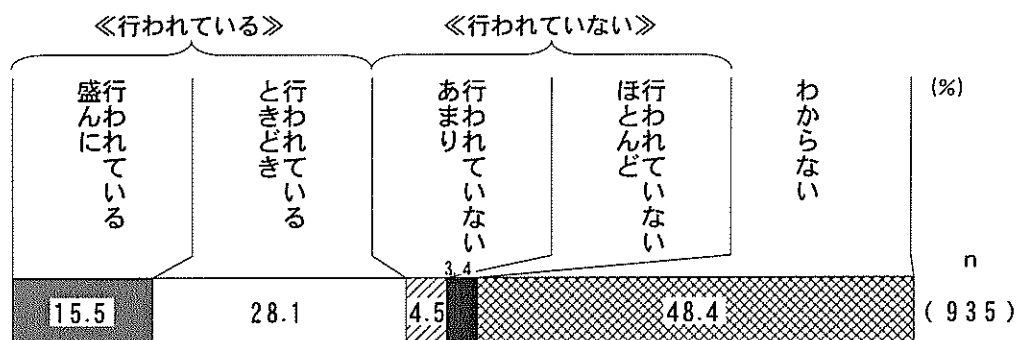
○この1年間にどの程度芸術、文化、伝統芸能を鑑賞したか聞いたところ、“美術（彫刻、絵画など）”（33.7%）と“音楽（ポピュラー、クラシック、ロック、演歌など）”（32.4%）を鑑賞したことがある方は3割を超えている。“伝統芸能（歌舞伎、文楽、祭りなど）”（29.6%）は3割で、“近代演劇、オペラ、バレエ、ダンス、パフォーマンス”（19.0%）はほぼ2割となっている。

(4) 地域活動の実施状況・参加状況

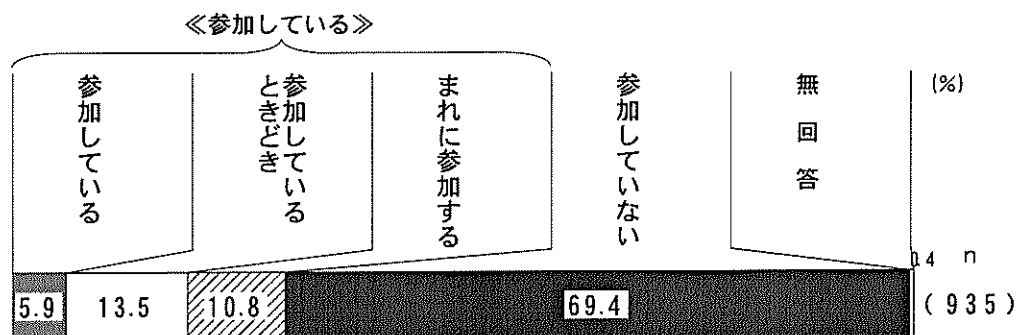
◇《行われている》は43.6%、《参加している》は30.2%

問26 みんなと協力して地域を住み良くするため、町会・自治会、子ども会、ボランティアなどの地域活動があります。あなたが今住んでおられる地域ではどの程度行われていますか。また、あなた自身は参加していますか。次の(1)と(2)についてそれぞれ1つずつ選んでください。

【実施状況】



【参加状況】



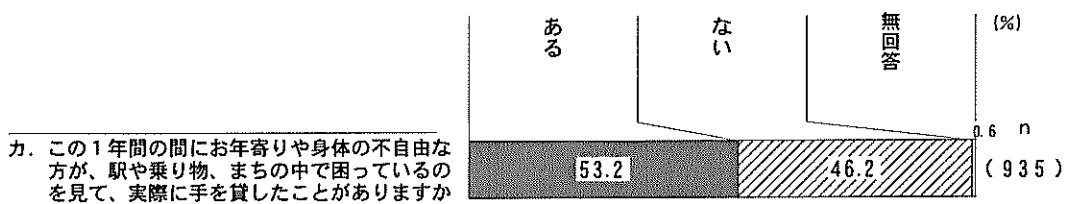
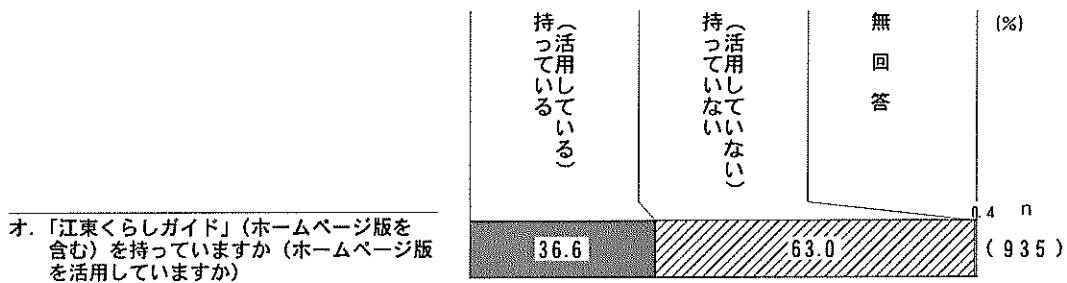
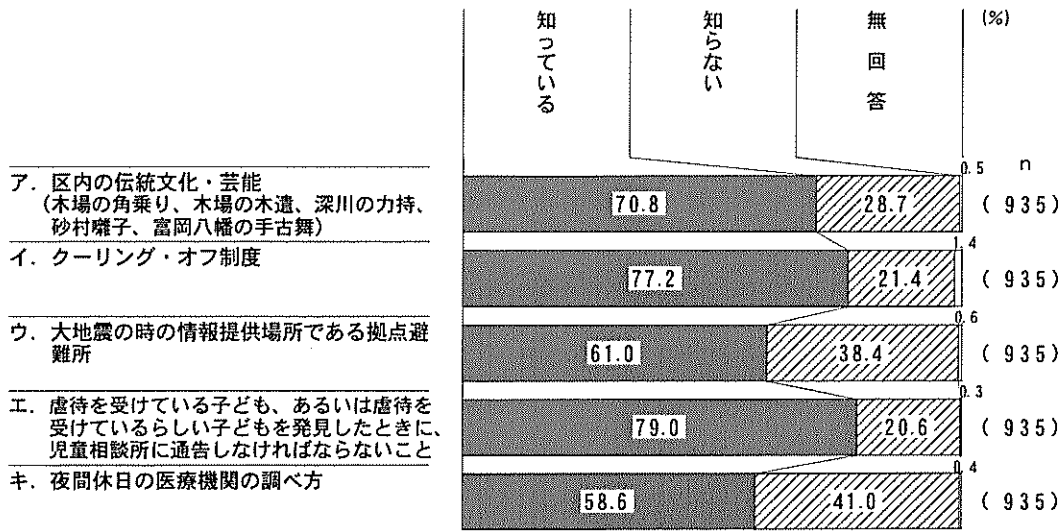
○今住んでいる地域で地域活動はどの程度行われているか聞いたところ、「盛んに行われている」(15.5%)と「ときどき行われている」(28.1%)の2つを合わせた《行われている》(43.6%)が4割を超えている。また、「わからない」(48.4%)は5割近くとなっている。

○地域活動に参加しているか聞いたところ、「参加している」(5.9%)と「ときどき参加している」(13.5%)、「まれに参加する」(10.8%)の3つを合わせた《参加している》(30.2%)は3割で、「参加していない」(69.4%)はほぼ7割となっている。

(5) 区事業等の認知状況、活用状況

◇ “児童相談所への通告” が 79.0%、“クーリング・オフ制度” が 77.2%

問 27 あなたは、次の(ア)から(キ)までのそれぞれについて、知っているかなどを1つずつ選んでください。



○区の事業等の認知状況について、「知っている」が最も多いのは、“虐待を受けている子ども、あるいは虐待を受けているらしい子どもを発見したときに、児童相談所などに通告しなければならないこと”(79.0%)で、ほぼ8割となっている。次いで“クーリング・オフ制度”(77.2%)、“区内の伝統文化・芸能(木場の角乗り、木場の木遣、深川の力持、砂村囃子、富岡八幡の手古舞)”(70.8%)、“大地震の時の情報提供場所である拠点避難所”(61.0%)、“夜間休日の医療機関の調べ方”(58.6%)の順となっている。

○また、「江東暮らしガイド」を持っていたり、ホームページ版を活用しているか聞いたところ、「持っている(活用している)」(36.6%)は4割近くとなっている。

○この1年間の間にお年寄りや身体の不自由な方が、駅や乗り物、まちの中で困っているのを見て、実際に手を貸したことがあるか聞いたところ、「ある」(53.2%)は5割を超えている。



(6) 生活時間

◇平日の自由時間は189分、休日の自由時間は319分

問28 あなたの1日の生活時間についておたずねします。次の(ア)から(ク)の行動にそれぞれ、どのくらい時間を使っていますか。平日と休日に分けてお答えください。記入は分単位で、ない場合は0(ゼロ)としてください。

	平日	休日		平日	休日
ア. 自由時間	188.74分	319.15分	オ. 介護	6.60分	8.02分
イ. 炊事	57.03分	59.89分	カ. 子育て	32.60分	50.86分
ウ. 洗濯	29.18分	34.72分	キ. 買い物	33.04分	58.99分
エ. 掃除	23.06分	35.55分	ク. 通勤(片道)	25.42分	2.91分

○1日の生活時間を、平日と休日に分けて8つの行動ごとに聞いた。

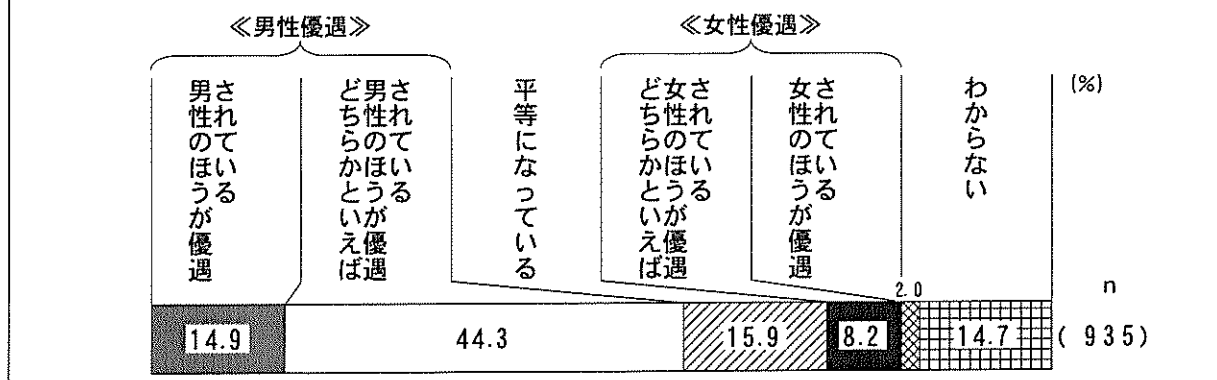
平日の家事では、「炊事」が57分で最も多く、次いで「子育て」と「買い物」が33分、「洗濯」が29分、「掃除」が23分などとなっている。「通勤(片道)」は25分、「自由時間」は189分となっている。

休日の家事では、「炊事」が60分、「買い物」が59分と多く、次いで「子育て」(51分)、「掃除」(36分)、「洗濯」(35分)などとなっている。「自由時間」は319分となっている。

(7) 男女平等意識

◇《男性優遇》が59.2%、「平等になっている」は15.9%

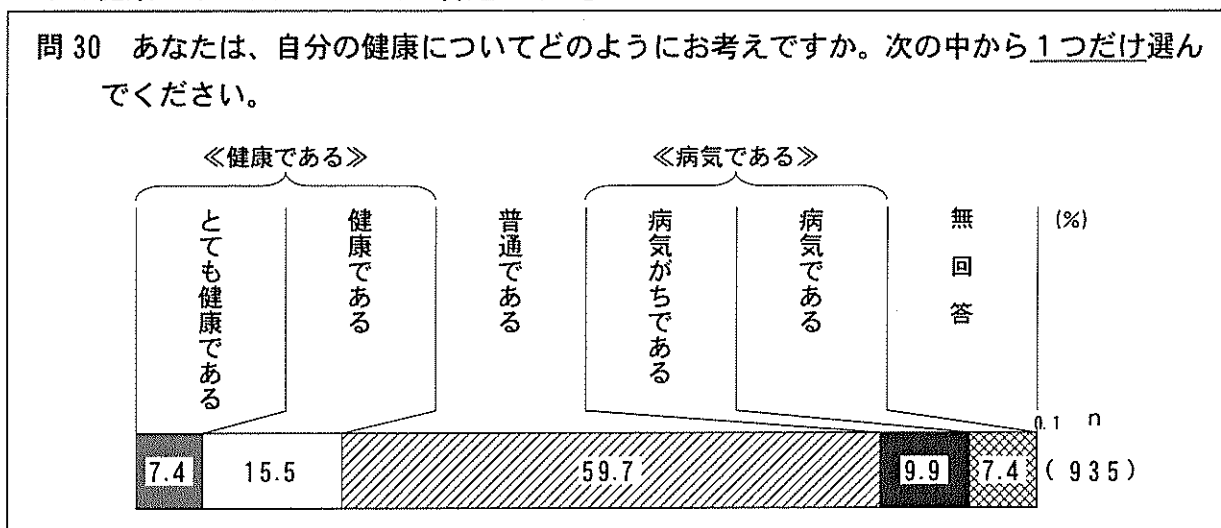
問29 現在、男女の地位は平等になっていると思いますか。次の中から1つだけ選んでください。



○現在、男女の地位は平等になっていると思うか聞いたところ、「男性のほうが優遇されている」(14.9%)と「どちらかといえば男性のほうが優遇されている」(44.3%)の2つを合わせた《男性優遇》(59.2%)がほぼ6割となっている。「平等になっている」(15.9%)は1割台半ばで、「どちらかといえば女性のほうが優遇されている」(8.2%)と「女性のほうが優遇されている」(2.0%)の2つを合わせた《女性優遇》(10.2%)は1割となっている。

(8) 自分の健康状態

◇「健康である」は 22.9%、「普通である」が 59.7%

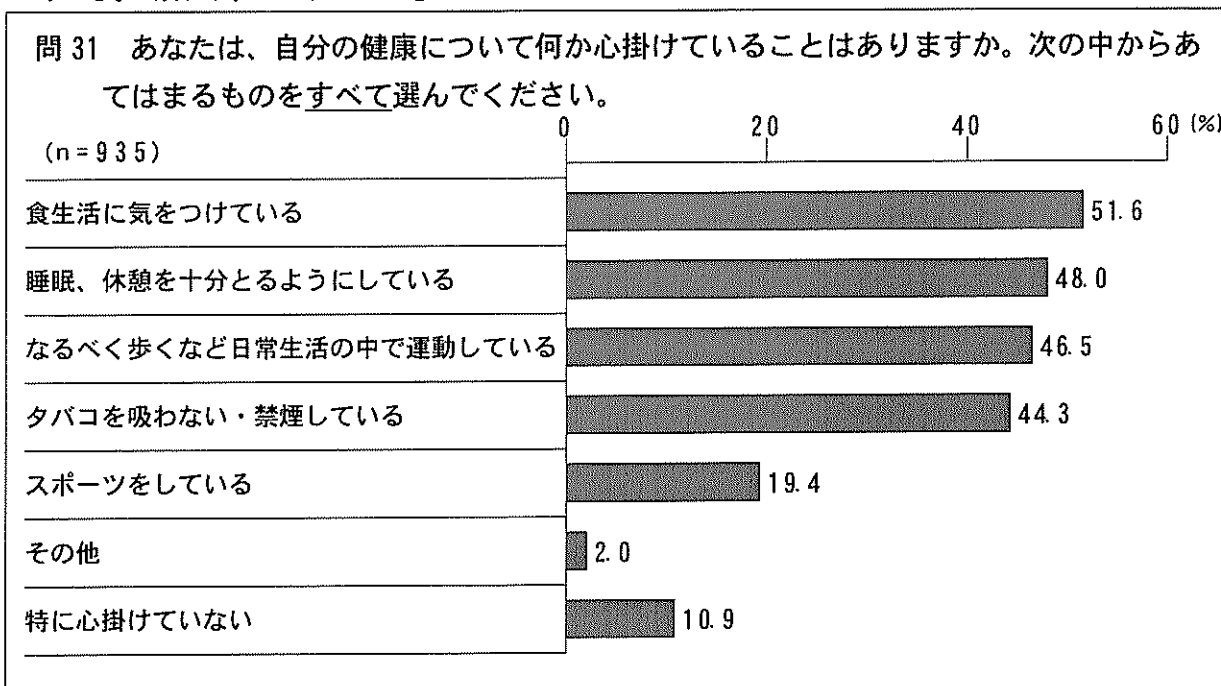


○自身の健康状態をどう感じているか聞いたところ、「普通である」(59.7%)が6割となっている。

「とても健康である」(7.4%)と「健康である」(15.5%)の2つを合わせた「健康である」(22.9%)は2割を超えており、「病気がちである」(9.9%)と「病気である」(7.4%)の2つを合わせた「病気である」(17.3%)は2割近くとなっている。

(9) 健康についての心掛け

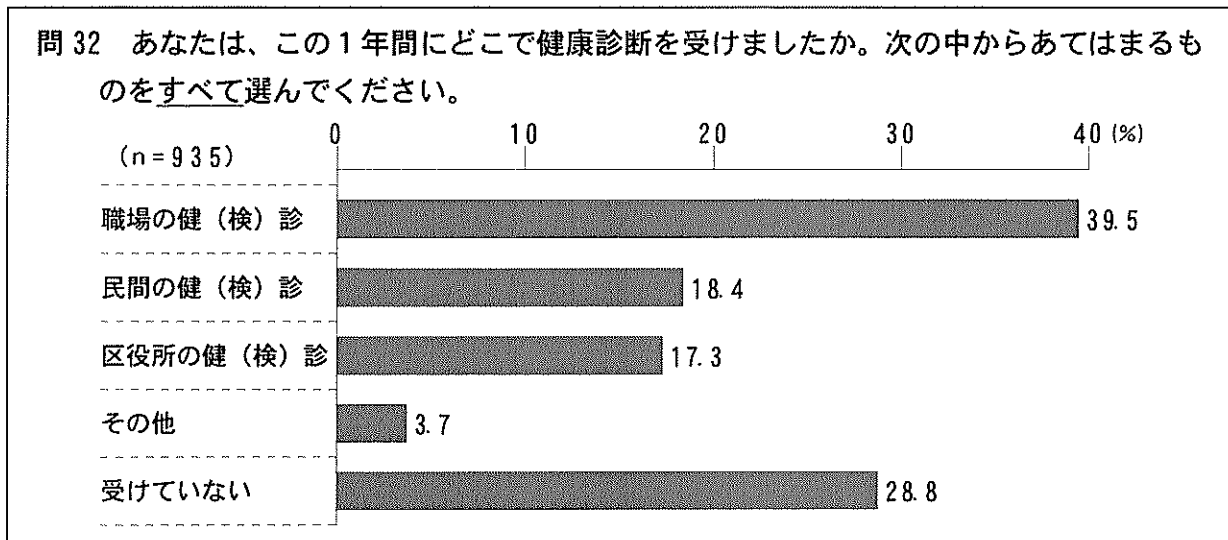
◇「食生活に気をつけている」51.6%、「睡眠、休憩を十分とるようにしている」48.0%



○健康について心掛けていることは何か聞いたところ、「食生活に気をつけている」(51.6%)が5割を超えて最も多く、次いで「睡眠、休憩を十分とるようにしている」(48.0%)、「なるべく歩くなど日常生活の中で運動している」(46.5%)、「タバコを吸わない・禁煙している」(44.3%)、「スポーツをしている」(19.4%)の順となっている。また、「特に心掛けていない」(10.9%)はほぼ1割となっている。

(10) 健康診断受診の有無

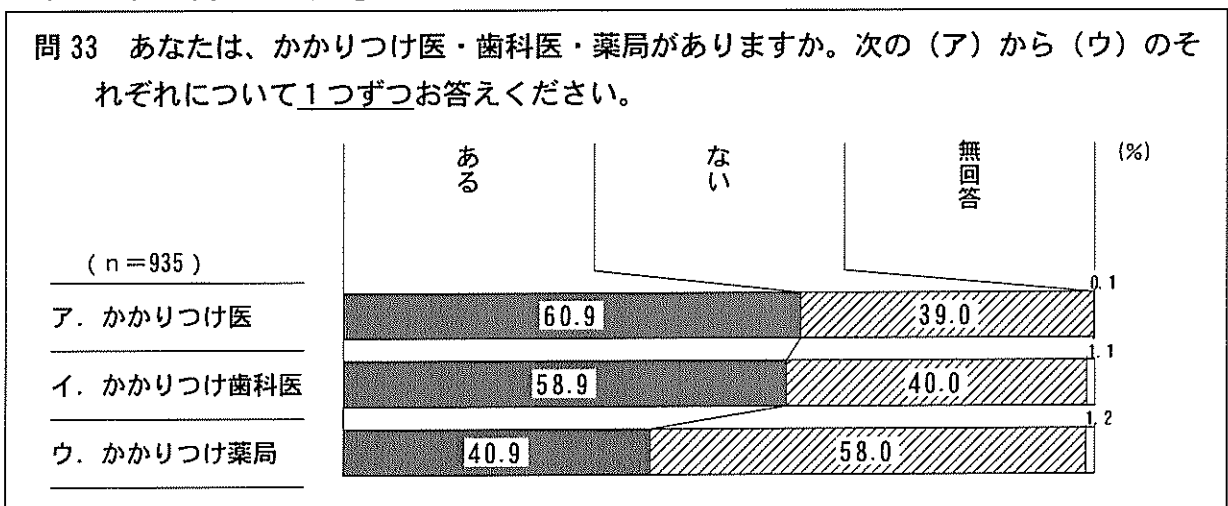
◇「区役所の健（検）診」は17.3%



○この1年間にどこで健康診断を受けたか聞いたところ、「職場の健（検）診」(39.5%)が4割で最も多く、「民間の健（検）診」(18.4%)、「区役所の健（検）診」(17.3%)はともに2割近くとなっている。「受けていない」(28.8%)は3割近くとなっている。

(11) かかりつけ医・歯科医・薬局の有無

◇かかりつけ医が「ある」は60.9%、かかりつけ歯科医が「ある」は58.9%

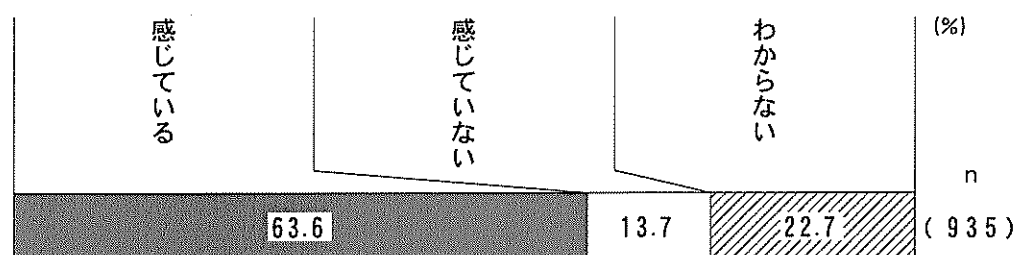


○かかりつけ医・かかりつけ歯科医・かかりつけ薬局があるか聞いたところ、かかりつけ医が「ある」(60.9%)と、かかりつけ歯科医が「ある」(58.9%)はともにほぼ6割となっている。かかりつけ薬局が「ある」(40.9%)はほぼ4割となっている。

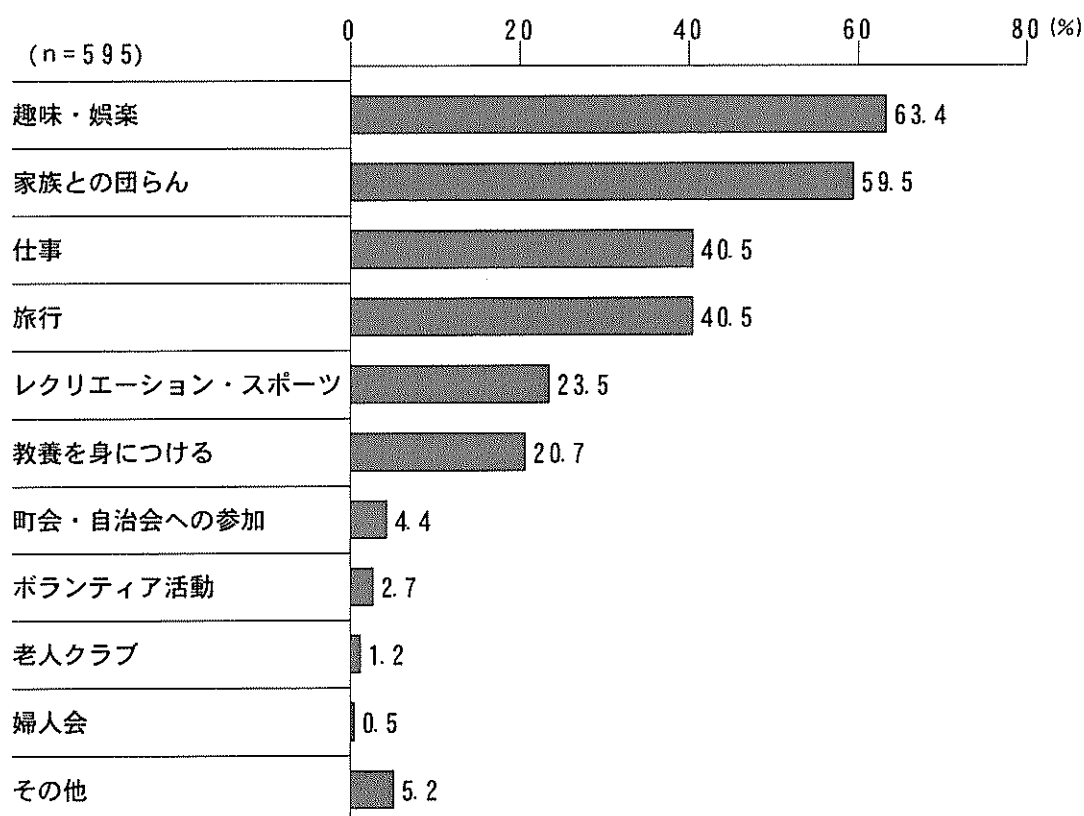
## (12) 生きがいの有無

◇「感じている」は63.6%

問 34 あなたは、現在生きがいを感じていますか。



### 【生きがいを感じる時（複数回答）】



○現在生きがいを感じているか聞いたところ、「感じている」(63.6%)は6割を超えており、「感じていない」(13.7%)は1割を超える程度となっている。

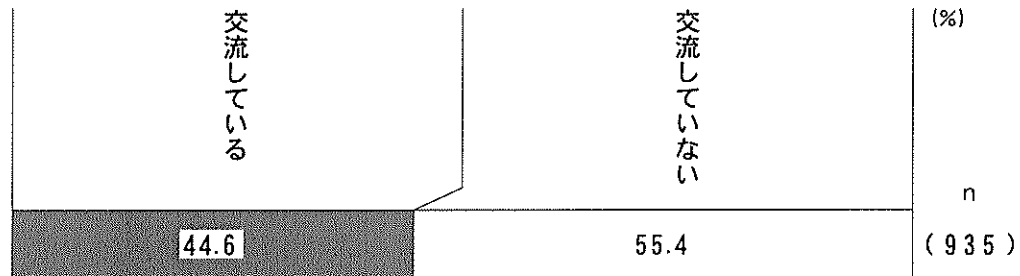
○現在生きがいを「感じている」方(595人)に、どのような時に生きがいを感じるか聞いたところ、「趣味・娯楽」(63.4%)が6割を超えて最も多く、次いで「家族との団らん」(59.5%)、「仕事」(40.5%)、「旅行」(40.5%)、「レクリエーション・スポーツ」(23.5%)、「教養を身につける」(20.7%)などの順となっている。

(13) 知人・友人などとの交流や福祉会館・老人福祉センターの利用

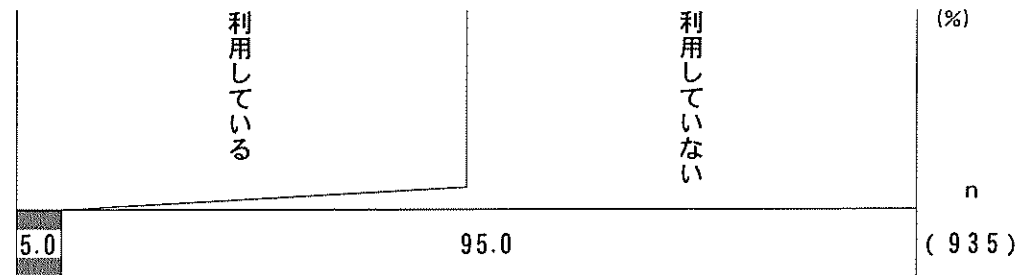
◇近所の知人、友人などと「交流している」は44.6%

問 35 あなたは、近所の知人、友人などと交流したり、福祉会館や老人福祉センターを利用していますか。次の(1)と(2)についてそれぞれ1つずつ選んでください。

【知人・友人などとの交流】



【福祉会館・老人福祉センターの利用】

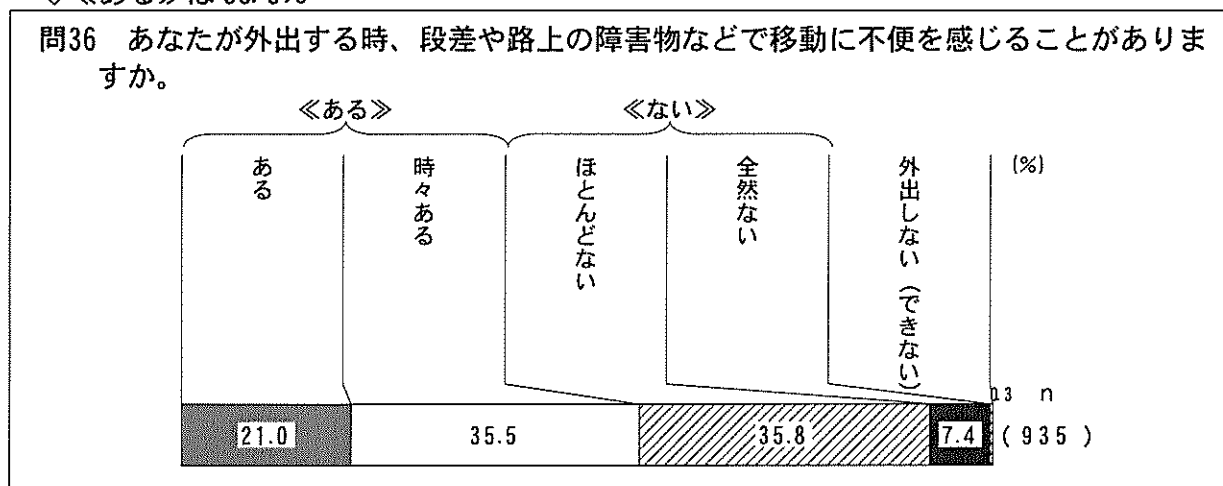


○近所の知人、友人などと交流しているか聞いたところ、「交流している」(44.6%)は4割台半ばで、「交流していない」(55.4%)は5割台半ばとなっている。

○福祉会館や老人福祉センターを利用しているか聞いたところ、「利用している」は5.0%となっている。

(14) 段差や路上の障害物などで不便に感じた経験

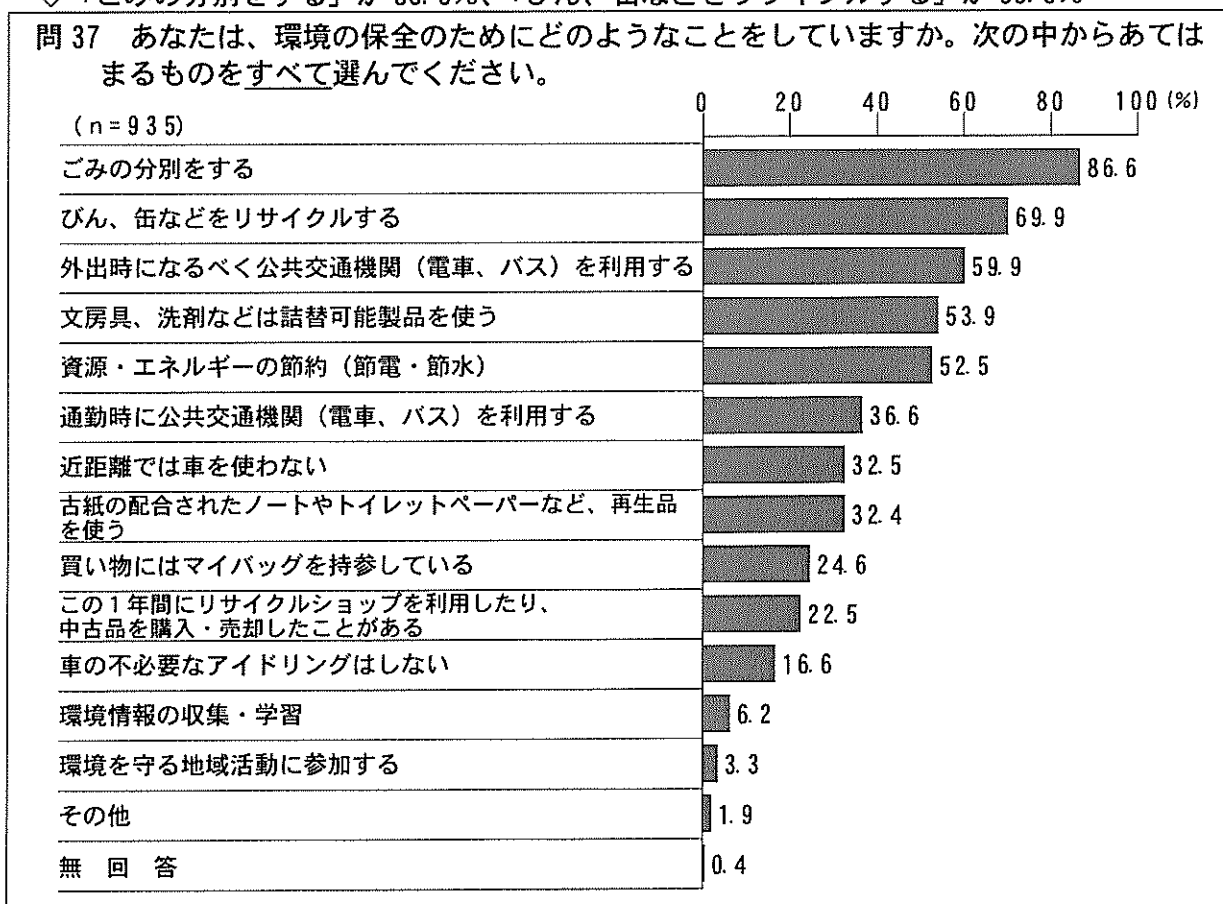
◇《ある》は 56.5%



○外出する時、段差や路上の障害物などのために移動に不便を感じることはあるか聞いたところ、「ある」(21.0%)と「ときどきある」(35.5%)の2つを合わせた《ある》(56.5%)は6割近くとなっており、「ほとんどない」(35.8%)と「全然ない」(7.4%)の2つを合わせた《ない》(43.2%)を上回っている。

(15) 環境保全のために実行していること

◇「ごみの分別をする」が 86.6%、「びん、缶などをリサイクルする」が 69.9%



○環境の保全のために実行していることを聞いたところ、「ごみの分別をする」(86.6%)が9割近くで最も多く、次いで「びん、缶などをリサイクルする」(69.9%)、「外出時になるべく公共交通機関(電車、バス)を利用する」(59.9%)、「文房具、洗剤などは詰替可能製品を使う」(53.9%)、「資源・エネルギーの節約(節電・節水)」(52.5%)などの順となっている。

(16) 生活環境評価

◇《満足》が最も多いのは“今お住まいの住宅についての満足度”で33.6%

問 38 まちの環境や暮らしの快適さについておたずねします。次の(ア)から(セ)の各項目ごとに、あなたの満足度の割合を1つずつ選んでください。

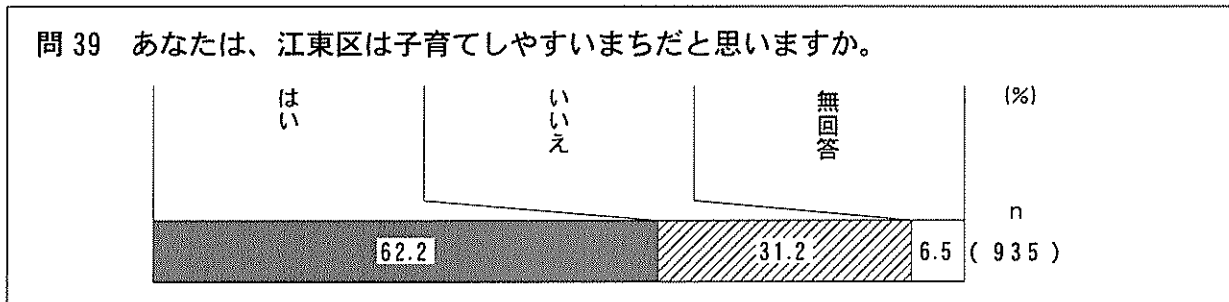


○まちの環境や暮らしの快適さについて、14項目に分けて満足度を聞いた。

「たいへん満足」と「やや満足」の2つを合わせた《満足》は、“今お住まいの住宅についての満足度”(33.6%)で3割を超えており、「やや不満」と「不満」の2つを合わせた《不満》は、“空気のきれいさ”(51.0%)でほぼ5割となっている。

(17) 子育てのしやすさ

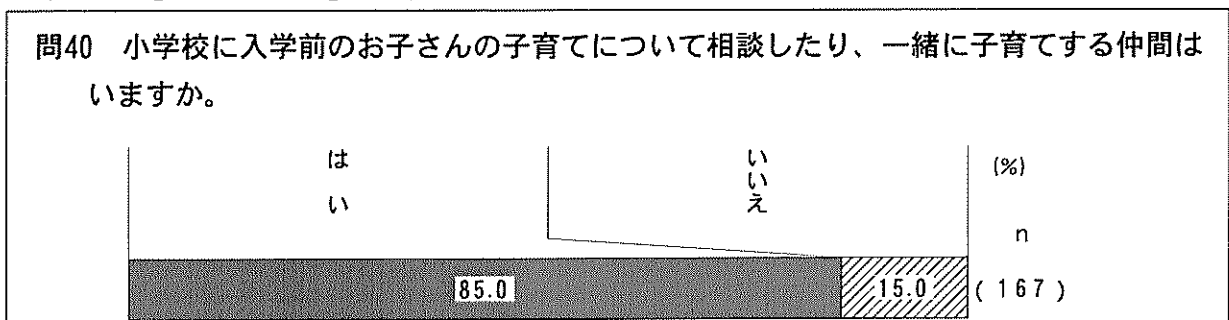
◇「はい」が62.2%



○江東区は子育てしやすいまちだと思うか聞いたところ、「はい」(62.2%)が6割を超え、「いいえ」(31.2%)を上回っている。

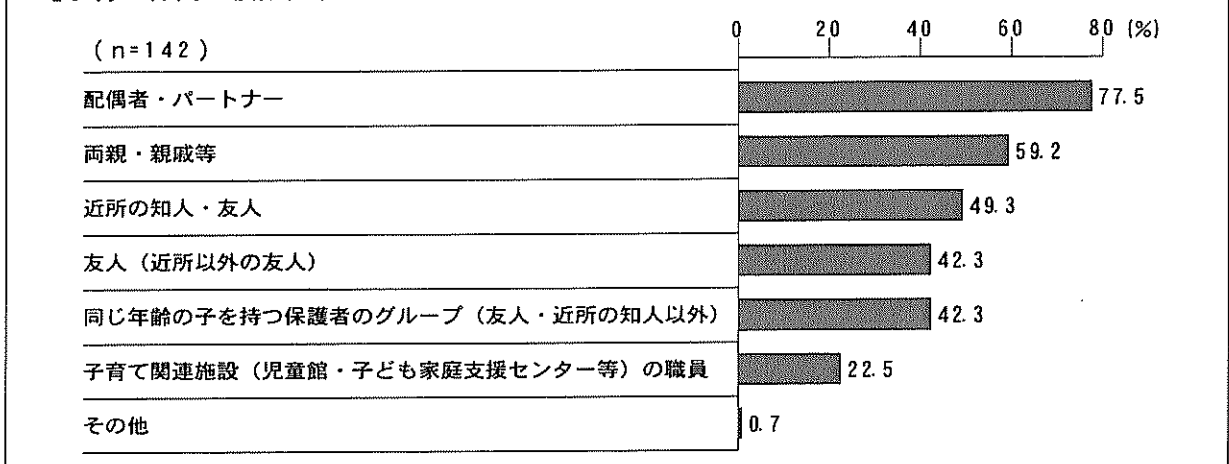
(18) 子育て仲間の有無

◇「はい」が「いいえ」を大きく上回る



(注) 図は「小学校に入学前の子どもはいない」と「無回答」を除いて再集計した結果を掲載している。

【子育て仲間（複数回答）】



○小学校入学前の子どもの子育てについて、相談したり一緒に子育てする仲間がいるか聞いたところ、全体では「はい」(15.2%)は1割台半ばで、「いいえ」(2.7%)はわずかとなっている。

「小学校に入学前の子どもはいない」と答えた以外の方(167人)に占める割合をみると、「はい」(85.0%)は8割台半ばで、「いいえ」(15.0%)を大きく上回っている。

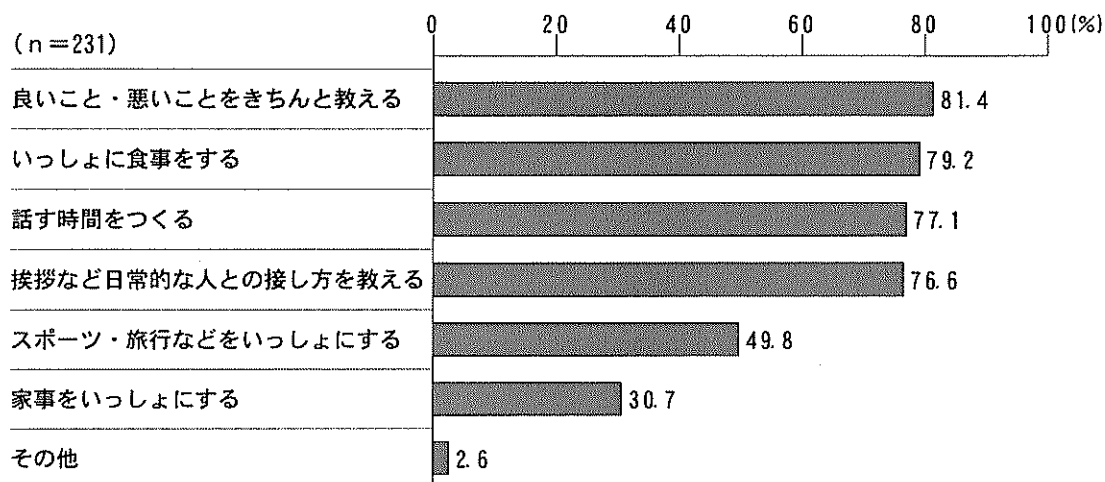
○子育て仲間がいると答えた方(142人)に、子育て仲間はどのような関係の人か聞いたところ、「配偶者・パートナー」(77.5%)が8割近くで最も多く、次いで「両親・親戚等」(59.2%)、「近所の知人・友人」(49.3%)、「友人(近所以外の友人)」(42.3%)、「同じ年齢の子を持つ保護者のグループ(友人・近所の知人以外)」(42.3%)などの順となっている。



(19) 子どもとのコミュニケーションについての心掛け

◇「良いこと・悪いことをきちんと教える」、「いっしょに食事をする」が上位

問 41 家庭でのお子さん（中学生まで）とのコミュニケーションについて、心掛けて実行していることは何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。



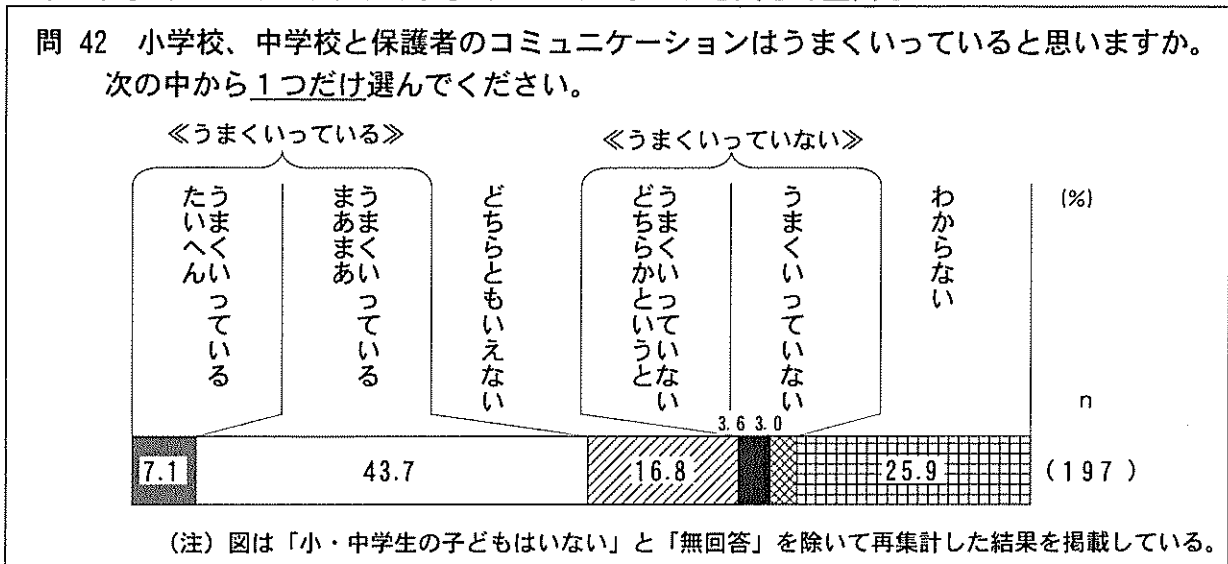
(注) 図は「中学生までの子どもはいない」と「無回答」を除いて再集計した結果を掲載している。

○中学生までの子どもとのコミュニケーションについて心掛けていることは何か聞いたところ、全体では「良いこと・悪いことをきちんと教える」(20.1%)が2割で最も多く、次いで「いっしょに食事をする」(19.6%)、「話す時間をつくる」(19.0%)、「挨拶など日常的な人との接し方を教える」(18.9%)などの順となっている。

「中学生までの子どもはいない」と答えた以外の方(231人)に占める割合をみると、「良いこと・悪いことをきちんと教える」(81.4%)がほぼ8割で最も多く、次いで「いっしょに食事をする」(79.2%)、「話す時間をつくる」(77.1%)、「挨拶など日常的な人との接し方を教える」(76.6%)などの順となっている。

(20) 小・中学校と保護者とのコミュニケーション状況

◇《うまくいっている》が《うまくいっていない》を大きく上回る

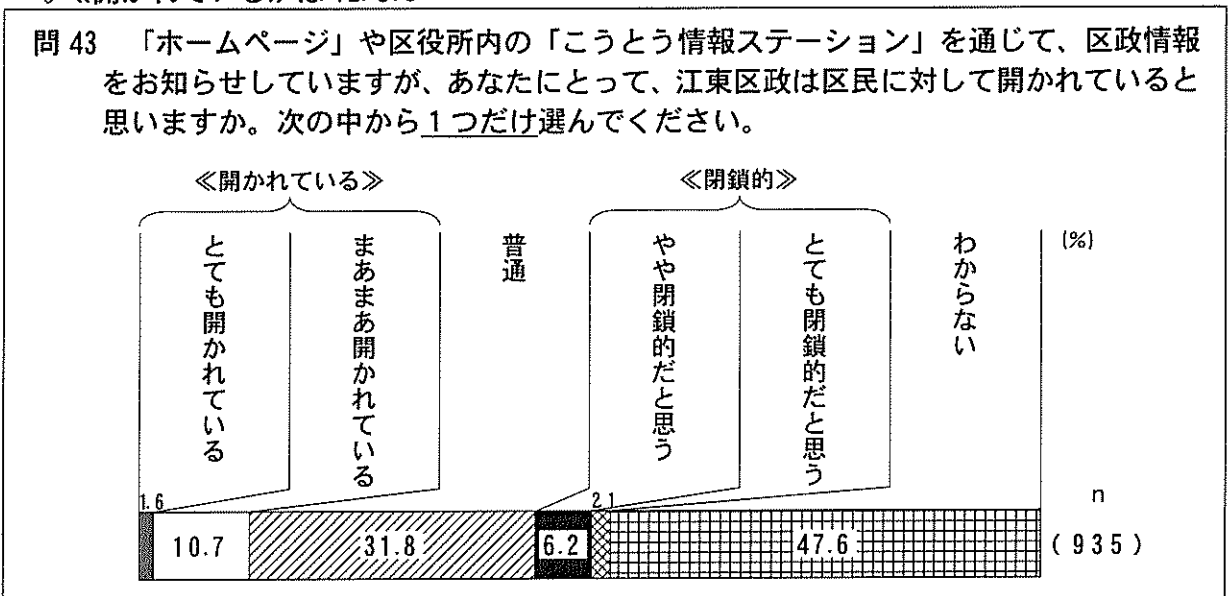


○小学校、中学校と保護者のコミュニケーションはうまくいっていると思うか聞いたところ、全体では「たいへんうまくいっている」(1.5%)と「まあまあうまくいっている」(9.2%)の2つを合わせた《うまくいっている》(10.7%)がほぼ1割で、「うまくいっていない」(0.6%)と「どちらかというとうまくいっていない」(0.7%)の2つを合わせた《うまくいっていない》(1.3%)はわずかとなっている。

「小・中学生の子どもはいない」と答えた以外の方(197人)に占める割合をみると、《うまくいっている》(50.8%)はほぼ5割で、《うまくいっていない》(6.6%)を大きく上回っている。

(21) 区政の公開度

◇《開かれている》は12.3%

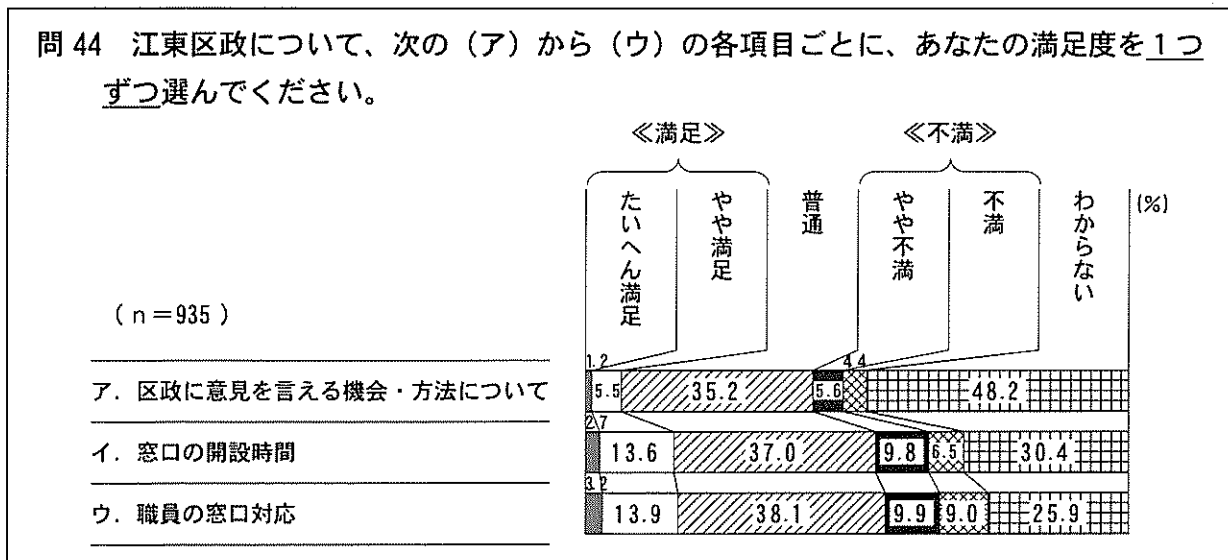


○江東区政が区民に対して開かれていると思うか聞いたところ、「とても開かれている」(1.6%)と「まあまあ開かれている」(10.7%)の2つを合わせた《開かれている》(12.3%)は1割を超えており、「やや閉鎖的だと思う」(6.2%)と「とても閉鎖的だと思う」(2.1%)の2つを合わせた《閉鎖的》(8.3%)は1割近くとなっている。「普通」(31.8%)は3割を超えており、「わからない」(47.6%)は5割近くとなっている。

(22) 区政に対する満足度

◇《満足》は“職員の窓口対応”で17.1%、“窓口の開設時間”で16.3%

問 44 江東区政について、次の（ア）から（ウ）の各項目ごとに、あなたの満足度を1つずつ選んでください。



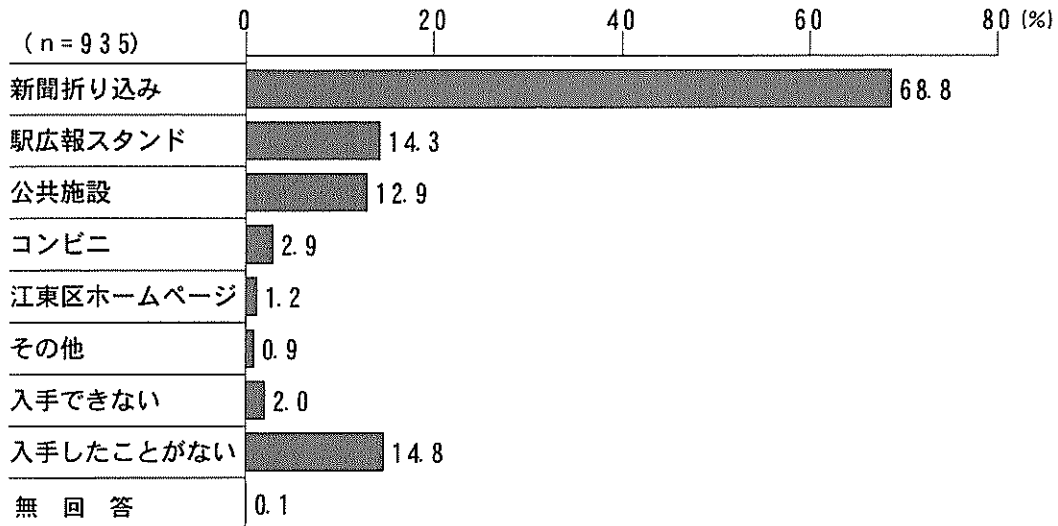
○江東区政に対する満足度を3つの項目ごとに聞いたところ、「たいへん満足」と「やや満足」の2つを合わせた《満足》は、“職員の窓口対応”（17.1%）と“窓口の開設時間”（16.3%）が1割台半ばで、“区政に意見を言える機会・方法について”（6.7%）では1割に満たない。一方、「やや不満」と「不満」の2つを合わせた《不満》は、“職員の窓口対応”（18.9%）で2割近く、“窓口の開設時間”（16.3%）で1割台半ば、“区政に意見を言える機会・方法について”（10.0%）で1割となっている。

【広報・広聴】

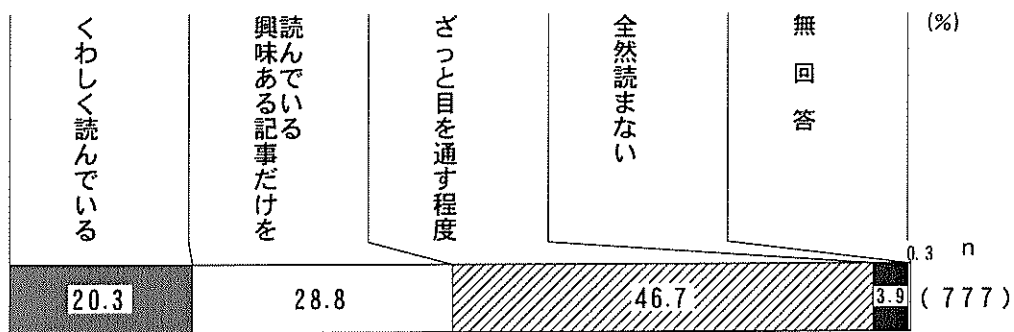
(1)「こうとう区報」の入手方法、閲読状況

◇「新聞折り込み」は68.8%

問45 「こうとう区報」の入手方法は、新聞折り込み、各交通機関の駅広報スタンド、コンビニ、公共施設（図書館・出張所など）がありますが、区報をどのような方法で入手されていますか。次の中から2つまで選んでください。



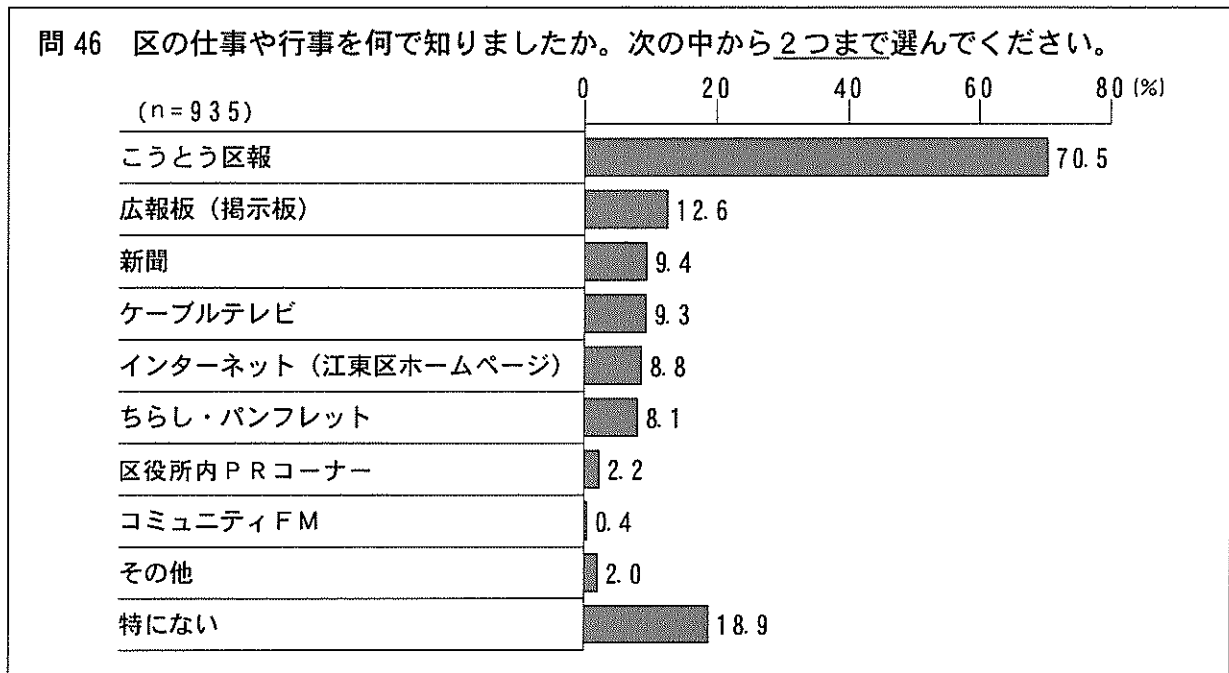
【「こうとう区報」の閲読状況】



- 「こうとう区報」をどのように入手しているか聞いたところ、「新聞折り込み」(68.8%)は7割近くとなっている。それ以外では「駅広報スタンド」(14.3%)が1割台半ばで、「公共施設」(12.9%)が1割を超えている。「入手したことがない」(14.8%)は1割台半ばとなっている。
- 「こうとう区報」を入手している方(777人)に、「こうとう区報」をどのくらい読んでいるか聞いたところ、「くわしく読んでいる」(20.3%)は2割となっている。「興味ある記事だけを読んでいる」(28.8%)は3割近くで、「ざっと目を通す程度」(46.7%)は5割近くとなっている。

(2) 区の仕事や行事の認知媒体

◇「こうとう区報」が70.5%、「広報板（掲示板）」が12.6%

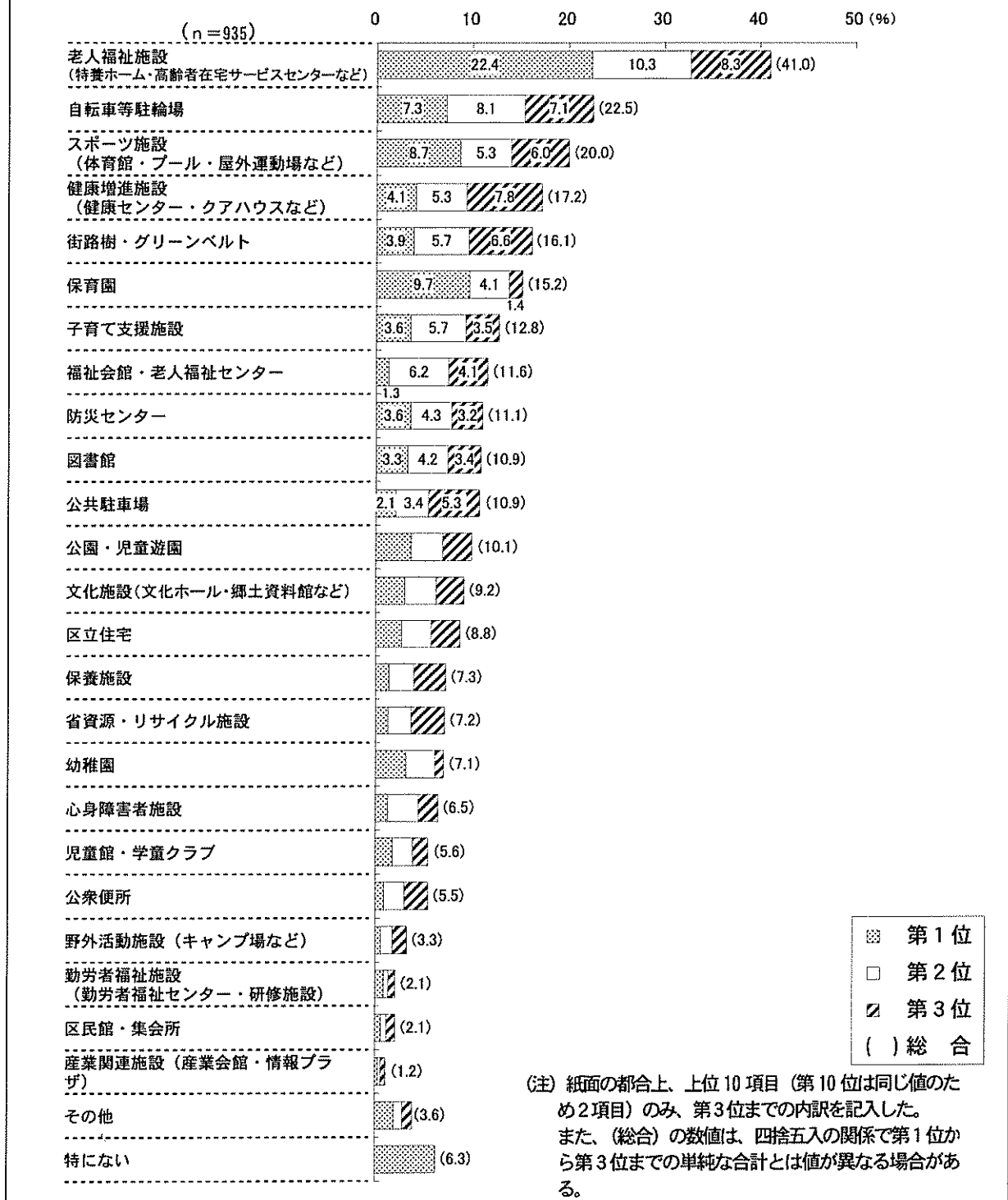


○区の仕事や行事の情報を何から得ているか聞いたところ、「こうとう区報」（70.5%）はほぼ7割となっている。次いで「広報板（掲示板）」（12.6%）、「新聞」（9.4%）、「ケーブルテレビ」（9.3%）、「インターネット（江東区ホームページ）」（8.8%）、「ちらし・パンフレット」（8.1%）などの順となっている。

(3) 充実すべき施設

◇「老人福祉施設」が41.0%、「自転車等駐輪場」が22.5%

問47 今後、区でさらにどのような施設を充実させていくべきだと思いますか。3つまで選んで順位をつけて、番号を記入してください。

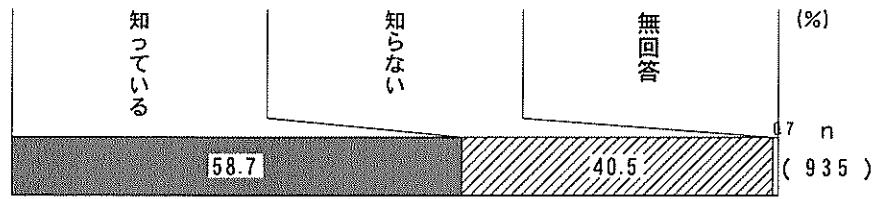


○第1位から第3位までを累計した【総合】でみると、「老人福祉施設(特養ホーム・高齢者在宅サービスセンターなど)」(41.0%)がほぼ4割で最も多く、次いで「自転車等駐輪場」(22.5%)、「スポーツ施設(体育館・プール・屋外運動場など)」(20.0%)、「健康増進施設(健康センター・クアハウスなど)」(17.2%)、「街路樹・グリーンベルト」(16.1%)、「保育園」(15.2%)などの順となっている。

(4) 区長名の周知状況

◇「知っている」は58.7%

問 48 あなたは、江東区の区長の名前を知っていますか。次の中から1つだけ選んでください。

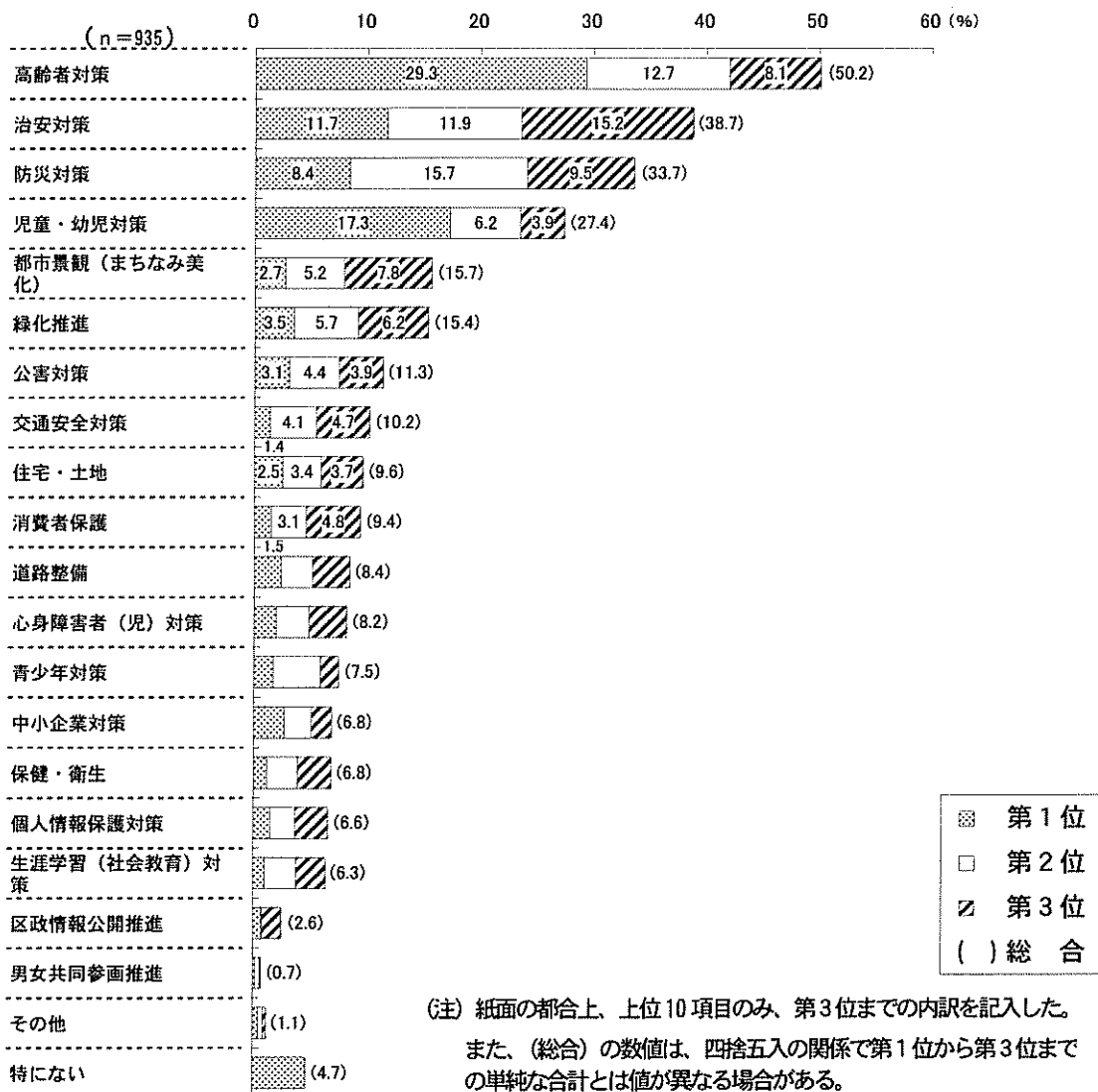


○江東区長の名前を知っているか聞いたところ、「知っている」(58.7%)は6割近くとなっている。

(5) 施策への要望

◇「高齢者対策」が50.2%、「治安対策」が38.7%、「防災対策」が33.7%

問 49 次の項目の中から、あなたが区に対して特に力を入れてほしいものを、3つまで選んで順位をつけて、番号を記入してください。



○第1位から第3位までを累計した【総合】で見ると、「高齢者対策」(50.2%)が5割で最も多く、次いで「治安対策」(38.7%)、「防災対策」(33.7%)、「児童・幼児対策」(27.4%)、「都市景観(まちなみ美化)」(15.7%)、「緑化推進」(15.4%)などの順となっている。